

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

＜全文＞国立国語研究所の日本語研究：  
ここまで進んだ！ここまで分かった！：  
国立国語研究所第9回NINJALフォーラム

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00000946">https://doi.org/10.15084/00000946</a>

# ここまで進んだ! ここまで分かった! 国立国語研究所の日本語研究

や

さ

あ

た

か

ら

は

か

は

な

あ

や

ら

た

あ

ら

た

さ

わ

## 〈ウチから見た日本語の多様性〉

危機方言はおもしろい

～方言にひそむ多様な発想法～

木部暢子

## 言語研究のインフラ整備

～日本語コーパスから見えてきたもの～

前川喜久雄

## 〈ソトから見た日本語の特質と普遍性〉

日本語の音声～促音(っ)の謎～

窪蘭晴夫

## 言語の普遍性と多様性

～自動詞・他動詞の対応にみられる普遍的傾向～

プラシャント・バルデシ

## 〈ソトとウチの接点としての日本語学習〉

日本人と外国人の日本語コミュニケーション

～学習者の「安全な誤用」と「危険な正用」～

迫田久美子

ポスター展示とデモンストレーション

ここまで進んだ! ここまで分かった!

# 国立国語研究所の 日本語研究

開会の辞～国立国語研究所六年間の歩み～

所長 影山 太郎 1

〈ウチから見た日本語の多様性〉

講演 危機方言はおもしろい～方言にひそむ多様な発想法～

時空間変異研究系教授 木部 暁子 6

講演 言語研究のインフラ整備～日本語コーパスから見えてきたもの～

言語資源研究系教授 前川 喜久雄 14

〈ソトから見た日本語の特質と普遍性〉

講演 日本語の音声～促音(つ)の謎～

理論・構造研究系教授 畠薙 晴夫

講演 言語の普遍性と多様性

～自動詞・他動詞の対応にみられる普遍的傾向～

言語対照研究系教授 プラシャント・パルデシ 39

〈ソトとウチの接点としての日本語学習〉

講演 日本人と外国人の日本語コミュニケーション

～学習者の「安全な誤用」と「危険な正用」～

日本語教育研究・情報センター教授 迫田 久美子

50

ポスター展示とデモンストレーション

59

閉会の辞～今後の展望～

所長 影山 太郎

60

# 開会の辞～国立国語研究所六年間の歩み～

所長 影山 太郎



本日は第九回NINJALフォーラムにかくも賑々しくご来場いただき、誠にありがとうございます。

今回は、前回までと異なる特別な趣向を凝らしています。従来、フォーラムというのは、一般の方々に向けた講演会として日本語に関する具体的なテーマを取り上げてきましたが、今年三月で国立大学と同様、国立国語研究所も六ヵ年の中期計画期間が終わり、ひとつの大きな節目を迎えます。そのため、過去六年間の研究活動の総括として、一般の方々だけでなく研究者の方々にも聞いていただきたいという想いから、従来のフォーラムと比べると少し専門的な話を交え、講演会というよりむしろ研究発表会として企画してみました。このような企画は、二〇〇九年に文化庁所轄の独立行政法人から文部科学省所轄の大学共同利用機関に模様替えした本研究所にとりましては、とりわけ意義のあるものと考えておる次第です。

## 国語の研究所から日本語の研究所へ

本日の表題は「ここまで進んだ！　ここまでわかった！　国立国語研究所の日本語研究」となっています。私の開会の挨拶では、「ここまで進んだ！」の部分、つまり、この六年間で本研究所がどう変わったか、どのように進展してきたかという大きな流れをお話しします。その後、五つの講演と展示・デモンストレーションで「ここまでわかった！」という具体的な内容に入っていきます。

六年間で変わったもつとも基本的なことは、国語の研究から日本語の研究へと範囲が広がったということにつきます。言語というのは、日常のコミュニケーションの手段であると同時に、人類だけに備わった論理的思考や創造性の源泉でもあるわけです。言語が持つこの二つの側面のうち、「国語」という用語はコミュニケーションの手段としての側面を表すものと理解できます。言い換えると、普段日本語を使っている私たち国民の立場、いわば「ウチ」から見た用語です。これに対しても、「日本語」という呼び名は、地球上に六千以上あると言われる人間言語の一つとして

捉える用語で、この側面を理解するためには「ソト」、すなわち諸外国語から見る視点が必要になります（図1）。

ウチ（国民の眼）から見た日本語というのは、たとえば、漢字が多すぎる、マスコミでカタカナ言葉が多くて理解できない、子供のころから使つていて、てっきり標準語だと思っていた言葉を会社で使つたら、東京の人間に通じなかつた、といった日常の身近な問題に直結します。

他方、ソト（諸外国語の観点）から見ると、たとえば、日本語は世界で一番難しいことばだといわれることがあるが、本当だろうか、日本語の文法や音声は世界の諸言語とどのように異なり、どのように似ているのだろうか、といったことが問題になります。こういった疑問に答えるためには、日本語の独自性と同時に、他言語との共通性を探つていかなければなりません。言語学の研究では、このような観点は当たり前で、昔からやつていたことですが、国立国語研究所としては新しい取り組みなのです。

## 「日本列島の言語」の研究へ

国語研究所というと、国語すなわち日本語の研究所だと思いがちです。しかし、日本列島には日本語のほかにも、古くから使われている言語があります。それは、沖縄県の島々で使われている琉球諸語と、現在では北海道のごく一部にだけ残っているアイヌ語です。琉球諸語は日本語の方言と見なされることがあります、最近の言語学研究によると、日本語と琉球諸語は一つの親（日琉祖語、英語ではProto-Japonic）から分岐した姉妹語だということがほぼ確定さできました。これに対して、アイヌ語は日本語および琉球諸語とは異なる系統であるという考え方が一般的です（図2）。

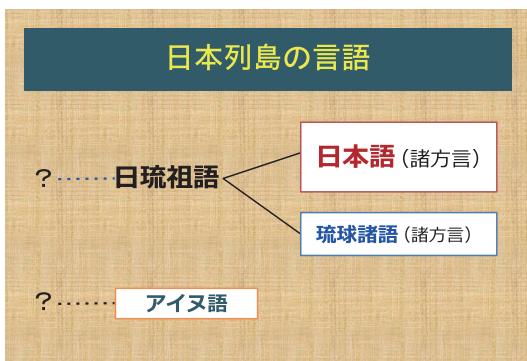


図2



図1



2)。しかしそれでも、アイヌ語が縄文時代には日本列島の広い地域で話されていた有力な言語の一つであつたことは間違いないところです。アイヌ語と琉球諸語は、消滅危機言語に関するユネスコの報告でも危機の度合いが高い言語として取り上げられていて、いま研究を進めなければ、あとで取り返しのつかない事態になってしまいます。また、琉球諸語、アイヌ語の研究を深めることによって、これまでに系統的に孤立した言語とされてきた日本語そのもののルーツを解明する手がかりが得られるかもしれません。沖縄語を中心とする琉球諸語の研究は、旧国語研究も多少はありましたが、地球上のいたるところで起こっている言語多様性の危機というグローバルな観点から捉える姿勢は新しいものです。さらにそのなかに、アイヌ語を含めていることは、国立国語研究所の歴史において画期的なことと言えます。

## 日本語の将来にむけて

アメリカ言語学会の機関誌で言語学では世界最高峰の専門誌である *Language* に、Michel Krauss の “The World's Languages in Crisis” (1992) という論文があります。そこでは、地球上で約七千ある言語のうち、どれくらいの言語が滅亡しかけているか、どれくらいが将来永続的に繁栄していくかといったことが論じられていて、それによると、世界の言語は大まかに三つのグループに分かれます。

- ①二〇～五〇%は絶滅寸前の状態（言語を受け継ぐ子どもがいない）。
- ②四〇～七五%は消滅の危機に瀕した言語で、このままいくと①になってしまふ。アイヌ語は①、琉球諸語は①ないし②に該当します。
- ③残りわずか五%が将来も安泰な言語です。

ここから単純に計算すると、二十一世紀の終わりには、地球上にはたった三五〇程度の言語しか残らないという予想になります。言語の多様性は文化の多様性、ひいては人間そのものの多様性を意味しますから、この推測は極めて深刻な問題をはらんでいます。一五〇〇年より以前は地球上に一万を超える言語があつたといわれますが、文明の発達とともに少数民族の言語がどんどん淘汰されていくのです。

では、みなさん、日本語そのものはどうなると思われるでしょうか。

多くの人々は、「自分が普段使っている日本語が①や②の状態になるなんて、考えられない。日本語は将来も安泰だ」と思っているのではないでしようか。ほんとうにそうでしょうか。

単に、日本の人口が将来、大幅に減るということだけが理由ではありません。小説家であり評論家の水村美苗さんは、あまり小さいときから英語を教えると、子供の日本語力に影響があるのでないかという懸念から、日本語の将来について警鐘を鳴らしています（『日本語が滅びるとき』一〇〇八年）。また、エスキモー語を専門とする言語学者の宮岡伯人さんは、まさしく消滅危機に直面しているエスキモー語と同じように、日本語も将来そのようになる可能性があることを危惧しています（『「語」とはなにか・再考』一〇一五年）。

言語の消滅危機の原因是、単に人口が減ることだけではありません。言語は、人工的につくったものではなく、人間生活のなかで自然に生まれ、発達してきたものですから、時間とともに変化していくことは当然ですし、地域や年齢、性別などによって違いがあるのも当然です。このような言語の内的変化は、話者自身も意識することができます。しかし、言語は内的原因で変化するだけでなく、外的な原因、特に諸外国語との接触によつても変化します。このことは、案外気がつかないものです。

現代の日本語の中にカタカナ言葉（借用語）が多いことは自明ですが、カタカナという目に見える形でないところでも、英語的な発想が入つてくるという可能性があります。たとえば、代名詞は英語学習の初歩において、*he* = 「彼」、*she* = 「彼女」と、イコールの関係として教えられることが多く、この教授法では日本語の「彼、彼女」が持つ独特的のニュアンスが切り捨てられてしまいます。その結果、たとえば日本人の大学生が自分の先生のことを「彼は……」といったり、日本人の子どもが自分の母や姉のことを「彼女は……」といったりする、といった日本語として不自然な用法がだんだんと広がってきます。

もし将来、このような外国语からの影響が日本語の語彙や文法全体にまで及ぶとすると、そのときの日本語は、はたして「日本語」と呼べるのだろうか、と考え込んでしまいます。そのような事態が起ころうかどうかは別にして、国立国語研究所の使命は、現在および過去の日本語の豊かな姿を将来に引き継ぐことであると考えています。

## まとめ

新しい国立国語研究所は、ウチとソトの複合的観点を取り入れることで、この六年間で次のような進化をとげました。

一、ウチの観点を精緻化することにより、標準語や方言の姿が詳細にわかるようになりました。（具体例は講演1、2を参照）

二、ソトの観点をとることで、日本語に特有とされるさまざまな言語現象でも、世界諸言語と同じ土俵で研究することにより、その本質が理解されるようになりました。（講演4、5）

三、非母語話者（外国人）の日本語学習を、ウチの視点とソトの視点が接触し、衝突する場であると捉えることで、日本語教育についても新たな研究の方向が見えてきました。（講演5）

四、いろいろな研究成果を国内だけでなく、積極的に海外にも発信することで、日本語研究および日本語そのものの国際的普及を促進する足がかりができました。なかでも、過去から現在までの国内外の日本語研究を展望し、日本語から世界の言語研究に貢献しようとする日本語研究英文ハンドブックシリーズ（図3）の国際出版が開始されたことは、とかく国内に閉じこもりがちな日本語（国語）の研究にとって大きなブレイクスルーになるはずです。

以上をもって、私の開会の挨拶とさせていただきます。引き続き、講演をお楽しみください。

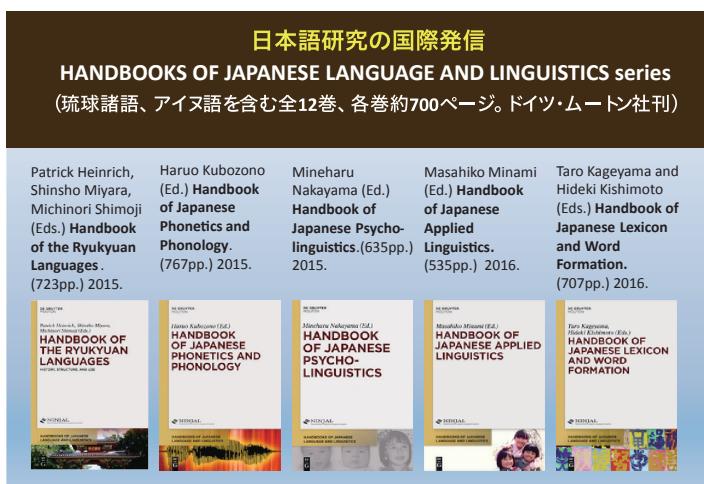


図3

# 〈ウチから見た日本語の多様性〉 危機方言はおもしろい～方言にひそむ多様な発想法～

時空間変異研究系教授

木部暢子

## はじめに

私は時空間変異研究系に属しています。時空間といふと、よく「三次元のことを研究しているんですか」といわれたり、工学部の先生に非常に親しみを持たれたりしますが、時間的な変化、つまり日本語の歴史と、空間的な変異、つまり方言を研究する部門です。ただ、時間と空間は、ことばのうえでも密接につながっているところがあり、古いものが地方に残るとよいわれていますから、あながち三次元の世界ではないとはいえないと思っています。近年、このような古い方言が消滅の危機にあり、多くの言語や方言が消滅するといわれています。それらができるだけ記録しきれれば消滅しないように子どもたちに伝えていく活動をしています。

二〇〇九年、ユネスコは世界の言語約6,000のうち約2,500が消滅の危機に瀕していると発表しました。

- 2009年、ユネスコは世界の言語約6,000のうち約2,500が消滅の危機に瀕していると発表しました。

UNESCO Endangered languages

<http://www.unesco.org/new/en/culture/themes/endangered-languages/>



図1 はじめに

### 木部暢子(きべ のぶこ)



時空間変異研究系教授。博士(文学)(九州大学)。各地でお年寄りに地域のことばを尋ね、それを記録しています。20年くらい前までは、「方言は悪いことば」「方言なんて調べてどうするの」と言われることがありましたが、最近は「方言を残したい」という人が多くなりました。お年寄りと子どもが方言で会話できるような社会が戻ってくるといいな、と思っています。専門は、日本語方言学。音声学。音韻論。主な著書に『西南部九州二型アクセントの研究』(2000)、『そうだったんだ！日本語：じゅうで方言なおもしとか』(岩波書店、2013年)、『シリーズ日本語史1 音韻史』(共著、岩波書店、2016年)などがある。

た。図1は、近いうちに消滅するといわれている言語の所在地を示しています。

バルーンがたつていないところは砂漠や山岳地帯ですから、人が住んでいる地域は、ほとんど危機言語だらけであることがわかります。

そのなかには、日本で話されている八つの言語が含まれています。

北からアイヌ語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語です。私は普段は南のほうの方言を専門に研究しています。この六年間に調査した場所を図2に示します。きょうはそのなかで奄美語のカテゴリにはいる鹿児島県の喜界島と、国頭語のカテゴリにはいる与論島のことばについて、フィールド調査で経験

した楽しいお話をして、皆様方にもフィールドの楽しさを味わっていただきたいと思っています。

## 与論島での経験——複数には二種類ある——

今日は、クイズを三つだします。最初のクイズは、「先生たちは東京へ行きました。先生は何人でしょうか」です。

先生は一人だと思う人。……いらっしゃいませんね。ほとんどの方は、先生は二人以上と思われますよね。私もそう思っていました。ところが、沖縄県との県境で、沖縄本島の北が手の届きそなところに見える与論島へ行つたときに、「ええっ」と思うことがあります。図3をご覧ください。図3の1は、

○○先生、△△先生、□□先生の三人がいますから、先生は二人以上ということになります。

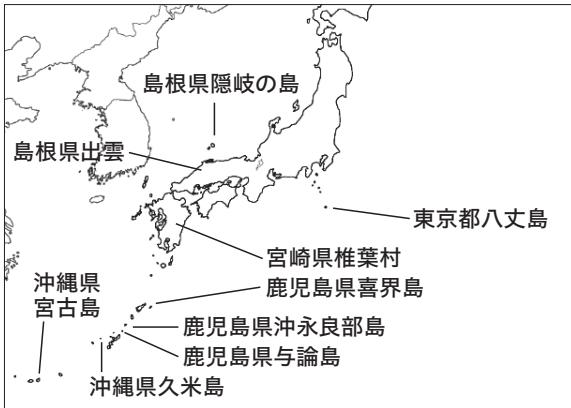


図2 調査場所

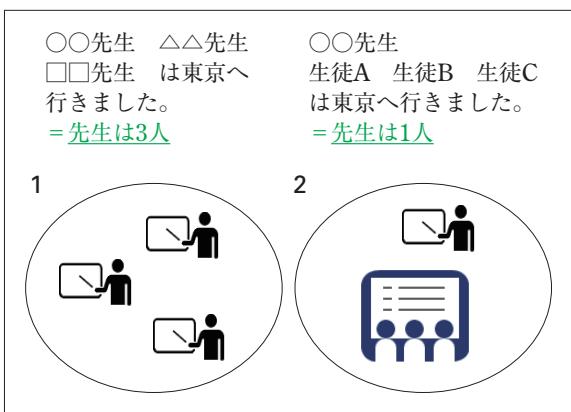


図3 クイズ1「先生たちは東京へ行きました。  
先生は何人でしょうか」

私の出身は福岡県北九州市です。東京や大阪、北九州などの方言をひとまとめにして本土の方言といつてきます。比較的、共通語に近いことばをしゃべっています。私も「先生たちは東京へ行きました」と聞くと、図3の1のパターンを思い浮かべます。しかし、与論島では、「先生は一人です」といわれたんです。先生のほかに生徒が三人一緒に行つたんだと。これは図3の2のパターンです。よく考えたら、共通語の「先生たち」は、先生一人とクラスの生徒三人が東京へ行つたときも使えます。私の北九州方言もそうです。

なぜ、与論で「先生は一人です」といわれたかというと、与論方言では、1と2で異なることばを使うからです。先生が二人以上いるときは、図4で赤く書いたところ（この文書では太く書いたところ）を高く発音して、「センセイターヤ、東京カティ イエータン」とい、先生一人と生徒三名の場合は、「センセイターヤ 東京カティ イエータン」とい、アクセントが違います（「センセイターヤ」の「ヤ」は「は」に当たる助詞です）。与論の話者は、2の場面を想定していたのです。最初、「センセイターヤ」と「センセイターヤ」の区別があるなんて思ってもいませんでした。与論島に行つて、「先生たちつていつたつて二種類あるよ」といわれ、びっくりしたわけです。

まとめると、次のようにになります。複数には「同類の人が複数」という複数（正常複数）と、同類ではないけれど「近い関係の人が複数」いるという複数（近似複数）。連合複数ともいわれますが、ここでは近似複数を使います）の二種類があります。英語の s をつける複数は正常複数です。与論方言では、この二つをアクセントで「センセイターヤ」と「センセイターヤ」のように区別します。一方、共通語は、正常複数と近似複数を区別しません。ただし、区別しないから二種類の概念がないのかというと、そうではありません。その場に応じて、「せんせいたち」がどちらの意味を指すか、判断しているわけで、この二つをきちんと理解しています。しかし、さきほどのクイズで「先生は一人」という回答がなかつたように、二種類の複数形があることを、ふだんはあまり気にしていません。

このような使い分けは親族名称に多くなっています（図6）。たとえば、授業参観にお父さんとお母さんがたくさんきていて、先生が「は

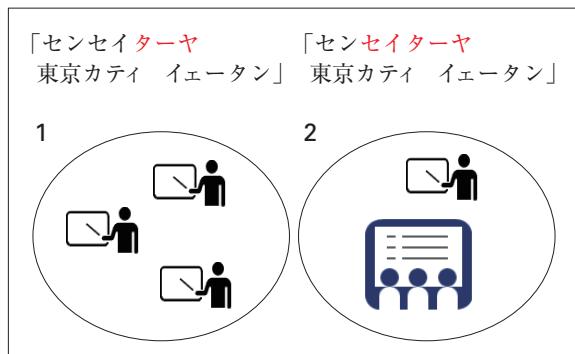


図4 「先生たちは東京へ行きました。」  
鹿児島与論島方言では……

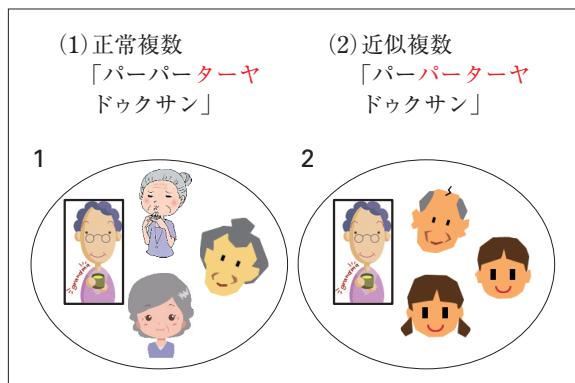


図5 与論方言「おばあさんたちは元気です」

い、お父さんたちはこっち。お母さんたちはこっち」と誘導するようなとき（正常複数）、共通語では「お父さんたち」といいます。また、お父さんを代表とする家族みんな元気ですというとき（近似複数）も「お父さんたち」です。それに対し与論島では、正常複数の場合は「アチャター」、近似複数の場合は「アチャヤター」といいます。

親族名称には、このような関係がほとんど成り立ちます。たとえば、お婆さんの単数は「パーパー」ですが、正常複数は「パーザーター」、近似複数（お婆さんとその仲間たちみたいな複数）は、「パーザーター」

単数	正常複数	近似複数
「お婆さん」 パーパー	パーザーター	パー・パーター
「お父さん」 アチャ	アチャター	アチャヤター
「お母さん」 アンマー	アンマーター	アンマーター
「おばさん」 フバ	フバター	フバター
「お兄さん」 ヤカ	ヤカター	ヤカター
「先生」 センセイ	センセイター	センセイター
	↓	↓
	○○が いっぱい	○○と その仲間たち

図6 親族名称にはこのような例が多い

	单 数	正常複数	近似複数
		○○が いっぱい	○○と その仲間たち
共通語	せんせい	せんせいたち	
与論方言	センセイ	センセイター	センセイター

図7 与論方言の複数形をまとめると……

この区別があることを与論島に行っていろいろな場面で経験しました。共通語では概念としては区別していますが、どの場合も同じ單語でいいえます。共通語とは違う言語をみると、共通語のシステムがまた新たに見えてくる、そういう楽しみがあるということです。与論方言をまとめると、図7のようになります。正常複数と近似複数は、共通語ではどちらも「たち」です。与論方言では、アクセントが違っています。

です。お母さんは「アンマーター」と「アンマーター」と区別します。正常複数のときは、どうも、アクセントが「ターハー」のところから上がり、近似複数のときは、单数形のアクセントに「ターハー」がくっついているようです。

## 喜界島での経験——種類の「わたしたち」

二つめのクイズは、「私たち」は罪人です。——「あなた」は罪人ですか?」です。これは、喜界島で経験したことです。

喜界島は奄美の一番北の端の島で、その北は点々と島が存在するトカラ列島です。方言調査のとき、人称代名詞の「わたし」とか「あなた」は基本項目ですので、必ず「『わたし』はなんといいますか」「『わたくし』はなんといいますか」「『あなた』はなんといいますか」「『あなたたち』はなんといいますか」と聞きます。「わたしたち」は喜界島でなんといいますか」と尋ねたところ、「わたしたちっていったつて、何種類もあるよ」といわれたのです。

たとえば、島に調査に行くと、島の人たちが歓迎会を開いてくれま

す。そこでスピーチで、「私たちは東京から来ました」といいます(図8左)。そして、調査が終わって帰るとき送別会を開いてくれ、そこでのスピーチで、「あー楽しかったです。私たちは一緒に踊りましたね」といいます(図8右)。喜界島では、宴会の最後は必ず踊りです。三線を弾いてみんな一緒に踊るのが、締めくくりになります。そのようなことが調査のとき何度もありました。そこでそのままスピーチをするわけです。共通語では、来たときの挨拶も「わたしたち」、帰るときの挨拶も「わたしたち」です。ところが、喜界島方言では、来たときのスピーチは「ワンナー」とい、送別会で楽しかったねというときは、「ワーチャ」といわなければいけないです。どう違うかを、図9に示しました。「私たちは東京から来ました」というときの「私たち」は、聞き手を含みません。「私たちは一緒に踊りましたね」というときは、聞き手を含んでいます。この二つを言い分けるわけです。聞き手を含まない「私たち」は、聞き手を除外しているので、「除外のwe」と呼び、聞き手も含む「私たち」は、「包括のwe」と呼びます。これを間違つたら大変なことになります。島に来たときの挨拶では、「ワンナー」といわなければならぬのに、ちょっと覚えたての島ことばを使おうと思って、「ワーチャ」といと、聞いている島の人たちは、「私は東京の人ではないよ」ということになります。また、別れの挨拶で、「ワンナー」といと、「えつ、結局親しく

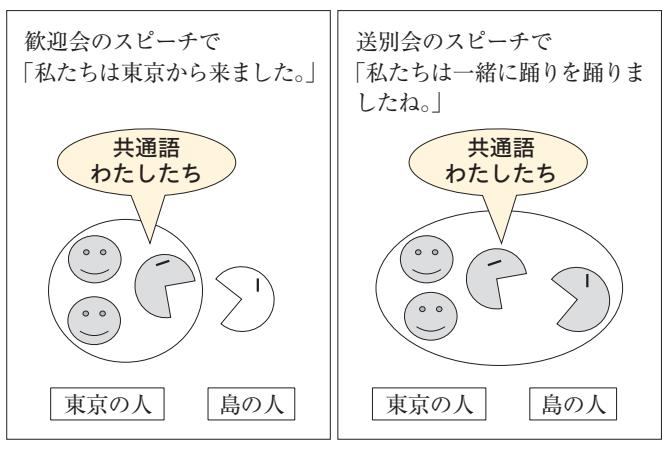


図8 共通語の「わたしたち」

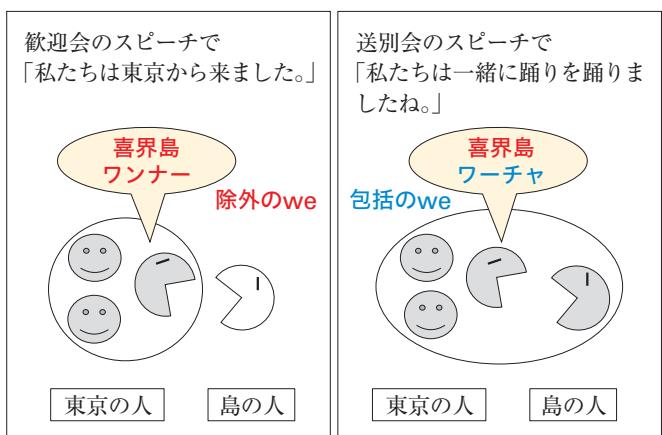


図9 喜界島方言の「わたしたち」

## 世界の言語に見る「私たち」

なれなかつたのか」と思われてしまうわけです。

いろいろな国のことばを見ると、欧米にはこの二つを区別しない言語が多くなっています。英語もドイツ語、フランス語も区別しません(図10)。中国語では、「我們（ウオメン）」と「咱們（ツアメン）」の二つの「私

- ・英語の we 、ドイツ語の wir 、フランス語の nous は **除外** 、 **包括** の両方を表す。
- ・中国語の「我們（ウォメン）」は「**除外のwe**」「咱們（ツァメン）」は「**包括のwe**」
- ・アフリカの諸言語にも「**除外のwe**」と「**包括のwe**」の区別がある。
- ・イエスペルセン（1860～1943）は次のような話を引用している。  
ある宣教師が黒人たちに向かって  
「われわれは、みな罪人です。われわれは、みな改心しなければなりません」と言ったとき、「いま私が語りかけているみなさんを除いて、わたしども」ということばを使ってしまった。（イエスペルセン著 安藤貞雄訳『文法の原理 中』185頁）

図10 2種類の「わたしたち」

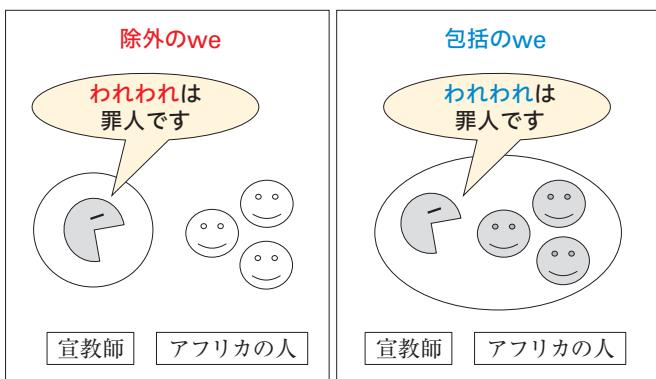


図11 「除外のwe」、「包括のwe」

### #共通語には除外、包括の区別がないか

たち」があります。「我們」は「除外のwe」で聞き手を含みません。「咱們」は、あなたも含んだ「包括のwe」です。ただし、中国語では最近、この二つの使い分けが混乱しつつあるという話も聞きます。アフリカの諸言語にも「除外のwe」と「包括のwe」の区別があります。いままから一〇〇年ほど前の言語学者、イエスペルセン（一八六〇～一九四三）が、次のようなおもしろい話を引用しています。当時、アフリカはイギリスやフランスの植民地で、キリスト教の普及がさかんに行されていました。あるとき、宣教師が現地の人たちに向かってい

いました。「われわれは、みな罪人です。われわれは、みな改心しなければなりません」と。キリスト教では、人間は原罪を背負って生まれてくるため、みな罪人であると教えます。そのとき、宣教師は「除外のwe」（いま私が語りかけているみなさんを除いて、わたしどもという意味）の「われわれ」という現地のことばを使ってしまったのです。ほんとうは、「包括のwe」を使わなければいけなかつたのに。英語にはこの区別がないので、このような間違いをしたという笑い話です（図11）。私は喜界島にいつて似たような過ちを犯しそうになりましたから、この宣教師の気持ちがよくわかります。

- a 「私たちの一〇年前からここで営業いたしております」。これは「除外のwe」でお客さんは含みません。
- b 「私どもは一〇年前からここで営業いたしております」。これも「除外のwe」です。
- c 「手前どもは一〇年前からここで営業いたしました」。

しております。これも「除外のwe」です。

次に、「包括のwe」の例です。村長の息子が行方不明になつたので、ある宿の主人が、大変だ、みんなで探しに行きましょう、と別の宿の主人たちにいいます。

a 「さあ、私たちも手分けして探しします」。これはOKですね。聞いている人を含めた「包括のwe」です。

b 「さあ、私どもも手分けして探しします」。これもOKです。もしかして、OKではないという方もいらっしゃるかもしれません。が、村長の息子に対して謙譲の意味が含まれるので、OKだと思います。この二つは「包括のwe」で、聞き手も含みます。では、

c 「さあ、手前どもも手分けして探し

しょう」は、どうでしょう。『言語学大辞典』では「だめ」という判断をして

しています。ただし、私はこれに関して、内省ができません。というのは、「手前ども」ということばを、日常生活で使つたことがないからです。皆様方のなかにも、あまり使つたことのない方が多いかもしれません。使つた経験がないので、いいとも悪いともなかなか判断できません。そこで、「手前ども」は考察から外すことになります。そうすると、「私たち」「私ども」は「包括のwe」と「除外のwe」の二つを表して区別がないことになります。

喜界島を境界線として、それより北側は「包括のwe」と「除外のwe」

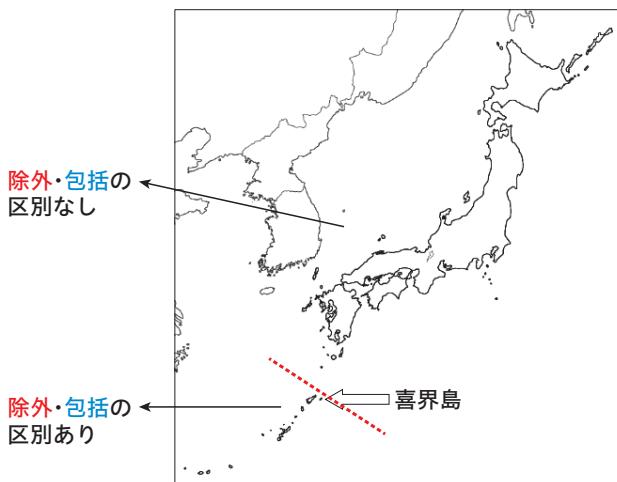


図12 「除外のwe」、「包括のwe」の区別

## 与論島での経験—出来事を人に伝え るときに……

最後に、また与論島の話です。共通語では「聖徳太子は……と言った」とふつうにいいますが、与論島で「聖徳太子は……と言った」というと、「えっ、いつ聞いたの」といわれてしまします。何が問題かというと、直接、聞いてもいないのに、なぜ、「言った」といえるのか、ということです。

「おじさんは『明日海につれていく』と言った」(直接、聞いた)、「聖徳太子は『和を以て尊しと為す』と言った」(直接、聞いていない)の二つの「言った」を、共通語では同じ語形でいますが、与論島では同じ語形ではいえません。自分がおじさんから直接聞いたときは、「ジョン・アッチャヤー ウンカティ ソーユン」チ イエータン」といい、聖徳太子のときは、「イエータン」はだめで、「聖徳太子ヤ『和を以て尊しと為す』チチ ウワーチャン」といわなければなりません。「イエータン」を使うと、聖徳太子のことばをじかに聞いたことになり、話手

の区別がなく、南側は区別があります(図12)。奄美・沖縄にも区別がない方言がありますが、一般的に区別があるところが多くなっています。



出来事を人に伝えるとき、与論方言では、「自分が直接見たり聞いたりしたこと」とそうでないことを言い分けることが徹底しています。たとえば、話し手が「太郎が海に行つたこと」を目撃したときは、「太郎や ウンカティ イキユータン」といいますが、たんなる過去の事実や目撃していないときは、「太郎や ウンカティ イジヤン」といいます。「イキユータン」は、関西の「行きよつた」にあたります。これが、目撃したことをあらわすようになつたのです。

また、話手の過去の経験の「私は 海に行つた」も、「ワナー ウンカティ イジヤン」といいます。なぜ、自分の経験が「イキユータン」ではなく「イジヤン」かというと、自分のことは自分で見えないからです。つまり、目で見ているか、見ていないかが重要なのです。

言語学ではこれをエビデンシシャリティ、証拠性といいます。与論方言はそのことをとつて大事にする言語です。まとめると、次のようになります。与論方言では、直接、見たときは「イキユータン」、見ていないときは「イジヤン」です。共通語は「行つた」しかありません。自分のことは自分で見ることができんから、自分の経験は「イジヤン」です。

## まとめ

三つのお話をしました。最初は、「○○がいっぱい」「○○とその仲間たち」の二種類の複数形の区別を共通語はしませんが、奄美の与論方言ではするということです。二つ目は、聞き手を含めるか、含めないかの区別を共通語はしませんが、奄美の喜界島方言ではするということです。三つ目は、自分が直接、見たり聞いたことか、そうでないことかの区別を共通語はしませんが、奄美の与論方言ではするということです。

では、どうして共通語にこの区別がないのか、共通語で言い分けたいときはどうするのか、という疑問がわいてきます。じつはこれがとっても楽しいのです。ですから、危機方言はおもしろいという表題をつけました。このような方言がなくなってしまうと、こういう発見の楽しみがなくなってしまいます。楽しみがなくならないように、できるだけ危機方言を記録し、また伝えていきたいと思っています。皆さん方も、できるだけこういう楽しい経験をなさつていただきたいと思つてゐるしだいです。ありがとうございました。

講演◆危機方言はおもしろい～方言にひそむ多様な発想法～

## 〈ウチから見た日本語の多様性〉

# 言語研究のインフラ整備 ～日本語コーパスからみえてきたもの～

言語資源研究系教授

前川 喜久雄

私は、国立国語研究所が開発している言語資源、コーパスについてお話しします。まずコーパスの必要性について触れ、次にこれまでのコーパス整備の経緯とこれからの計画を紹介します。その後、近年に開発したいくつかのコーパスを紹介し、最後にコーパスを使うとどのような検索ができるか検索例をお示しします。

### なぜコーパスが必要か

コーパスとは、言語を研究するために大量の用例を組織的に収集して、コンピュータで効率的に検索できるようにしたデータのことです。それでは、なぜコーパスが必要か。それは言語には大きな多様性があるからです。多様性が大きすぎるので、単に頭で考えているだけでは、言語の実態を把握することができないのです（図1）。

世界に何千種類も言語があるという意味でも言語は多様なのですが、一つの言語、例えば日本語の内部にもさまざま多様性が認められます。そのような言語内多様性の源はさまざまですが、よく知られるのは歴史的な多様性と地理的な多様性でしょう。言語は時間とともに

に変化します。それが歴史的な多様性を生み出します。変化の中には日本語独自の変化も、外国語からの影響による変化もあります。古くは中国語、近年では英語が代表的な外国語です。地理的な多様性、つまり方言の問題については、さきほど木部先生のお話のテーマでもあつたので、省略します。

言語には創造的使用と呼ばれる変化も生じます。言語、表現には一定の意味があるわけですが、それをあえて変化させて使うのが創造的使用です。最近「やばい」という言葉がポジティブな評価に使われるようになってきたいるのはその一例です。

その他、近年目立つようになつた多様性の要因として、日本語を母語とし

### 前川 喜久雄（まえかわ きくお）



言語資源研究系教授。博士（学術）（東京工業大学）。音声学が専門ですが、自発音声の研究のために『日本語話し言葉コーパス』（CSJ）の開発に携わったことがきっかけとなって、1999年来コーパスの設計と実装に深く関係するようになりました。そのため最近では第二の専門として言語資源学をなのっています。主な著書は『講座日本語コーパス』（朝倉書店）、A Frequency Dictionary of Japanese（Routledge）、『音声は何を伝えているか』（コロナ社）など。

ない人たちが使う日本語があります。学習者の日本語です。さらに、コンピュータがつくりだす日本語（機械翻訳）も、今後、多様性の源になるかもしれません。

また、何が原因かはよくわからないけれども、ある語にふたつ以上の語形があつて、明瞭な規則性もなしに使われていることがあります。「日本」がニホンかニッポンか、「矢張り」が「ヤハリ」か「ヤツパリ」か、「ヤハシ」か、等々。これらは一種の確率的な変動であつて、言語の変異と呼ばれることがあります。

さて、このような言語内多様性を正確に把握したいのですが、ではどうやつて把握するか。思いつくままに、こんなのがある、あんなの

もあるといつても、正確ではありません。客観的な方法で調べたデータが必要になります。その際、データに求められる特性としては、以

下のものがあります（図2）。

まず、頭でつくりだしたものではなく、実際に使われたことが分かつていること（実用例であること）。第一に、対象となる言語の一部分だけではなく、全体を偏りなく代表すること（大規模性）。第三に、できるだけ大量のデータであること（均衡性）。第四に、検索用のいろいろな情報が付加されていて、コンピュータで検索できること。最後に、データをつくった人だけが利用したり、ある特殊な機関に所属している人間だけが使えるのではなく、誰でもが利用できる公開されたデータであること。

そのような条件を備えたデータのことを、われわれはコーパス（corpus）と呼ぶのです。また、そのコーパスを構築・利用するためのノウハウや検索ツール、さらにはコーパスから二次的に派生された種々の二次的データ（例えば辞書）などもふくめて、言語資源（language resources）と呼ぶことがあります。

- ・多様性の源
  - 歴史的多様性
    - ・内発的变化
    - ・外国語の影響
  - 地理的多様性
  - 創造的使用
  - 確率的変動（言語変異）
  - その他
    - ・非母語話者
    - ・機械翻訳

図1 言語内多様性

- ・直観だけでは把握できない（例は後で）
- ・客観的なデータが必要
  - 本当に使われたことのある用例のデータ
  - 対象を偏りなく代表するデータ
  - できるだけ大量のデータ
  - 検索用の情報がついたデータ
  - コンピュータで利用できる形式（機械可読形式）のデータ
  - 誰でも利用可能な公開されたデータ



- 言語コーパス（corpus）の整備  
～言語資源（language resources）の整備

図2 言語内多様性を把握する手段

## 国語研によるコーパス開発の経緯

これまでの国語研究所によるコーパス開発の経緯をまとめてみます。国語研究所は一九四八年に創立されました。直後の一九五〇年代から、新聞、雑誌などを対象とした各種の「語彙調査」が実施されています。これは簡単にいえば、共通語の語彙を確定するための基礎調査でした。方法論的には優れたことをやっていたのですが、残念ながらデータを公開

しませんでした。国語研の研究者が使って、結果を報告書にまとめて、それでおしまいでした。その意味でコーパスとはいえません。

国語研がコーパスを開発しはじめたのははるかに遅く、一九九〇年代末からでした。それから現在までに構築してきた代表的な日本語コーパスを図3に示します。

最初に公開したのは『日本語話し言葉コーパス（CSJ）』（構築一九九九～二〇〇三年度、公開二〇〇四年）でした。これは現代語の話し言葉を対象としたコーパスです。次

は、明治から昭和初期にかけての書き言葉を対象とした『太陽コーパス』（構築一九九五～二〇〇四年度、公開二〇〇五年）。『太陽』と

いうのは当時広く読まれた総合雑誌の名前です。三番目の『現代日本書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）』（構築二〇〇六～二〇一〇年）は、現代語の書き言葉を、書籍・雑誌・新聞・白書・広報誌・ネット掲示板・ブログ・詩歌・法律など幅広く収集したもので、現在もっとも活発に利用されている書き言葉のコーパスです。規模はちょうど一億語です。

『日本語歴史コーパス（CHJ）』（構築二〇一〇～）は、奈良時代ま

でさかのぼることのできる過去の日本語を対象としたコーパスで、現在も構築中ですが、一部は公開されており、日本語史の研究者にとっては必須のコーパスになっています。

- ・ 1950年代から各種「語彙調査」を実施してきたがデータは公開しなかった
- ・ 1990年代末にコーパス開発始動
- 『日本語話し言葉コーパス（CSJ）』  
(構築 1999 ~ 2003、公開 2004)
- 『太陽コーパス』(構築 1995 ~ 2005、公開 2005)
- 『現代日本書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）』  
(構築 2006 ~ 2011、公開 2011)
- 『日本語歴史コーパス（CHJ）』  
(構築 2010 ~、段階的に公開)
- 『国語研日本語ウェブコーパス（NWJC）』  
(構築 2011 ~ 2015、公開 2016予定)
- 『多言語母語の日本語学習者横断コーパス（I-JAS）』(構築 2012 ~、部分試験公開 2016)

→ 追田の発表

図3 国語研によるコーパス開発の経緯

『国語研日本語ウェブコーパス（NWJC）』（構築二〇一一～二〇一五年）はインターネット上の日本語を大量に収集したもので、規模は二百五十億語あります。来年度（二〇一六年度）に公開の予定です。さらに、きょうのちほど追田先生のお話しに出てくる『多言語母語の日本語学習者横断コーパス（I-JAS）』もあります。これは、日本語を勉強している人たちの言語行動を記録したコーパスで、近日公開予定です。

ここでもう一度、一九九〇年代末にもどりましょう。その時期に、日本語学の研究者が利用することのできた日本語のデータには図4に示すものがありました。現代語については、毎日新聞などの新聞社が有償で公開するテキストデータがありました。もう少し古い時代のデータとしては、著作権の切れた文芸作品をもとにした青空文庫が使いました。新潮社が過去の文芸作品をデジタル化した『新潮文庫の百冊』もしばしば利用されていましたが、著作権の問題が解消されていたかどうかは不明です。これがすべてです。日本語の全体像を知るには、明らかに偏ったデータです。

そこから二〇年ほど頑張ってきて現在の整備状況を示したのが図5です。さきに説明したように、書き言葉に関しては『現代日本書き言葉均衡コーパス』があり、話し言葉については『日本語話し言葉コー



図4 日本語コーパス整備の経緯Ⅰ：1990年代

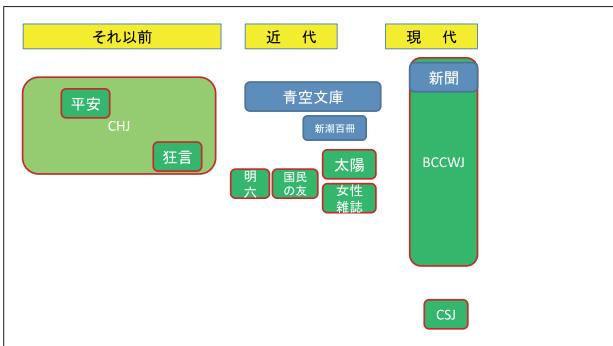


図5 日本語コーパス整備の経緯Ⅱ：現状

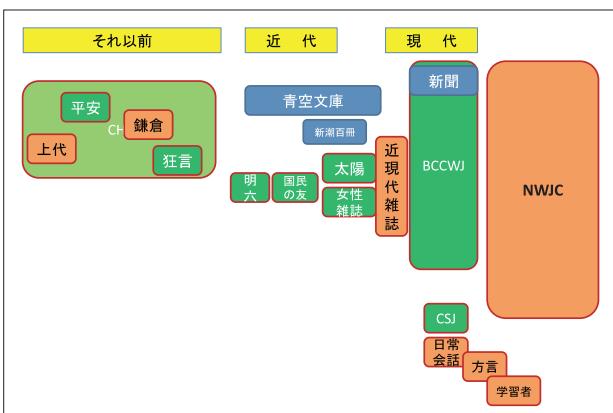


図6 日本語コーパス整備の経緯Ⅲ：2021年の目標

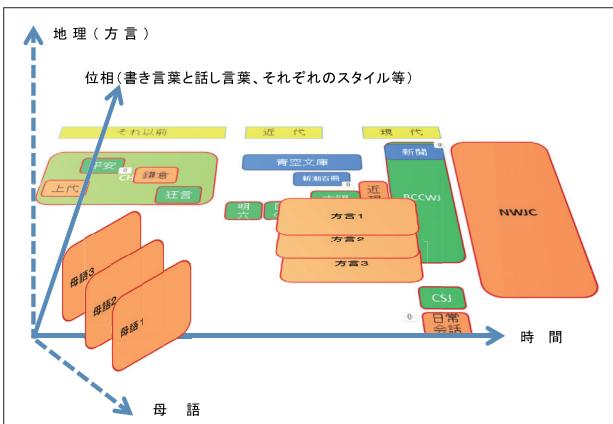


図7 各種コーパスの相互関係

パス』があります。近代語の各種雑誌のコーパス（『明六雑誌』『国民の友』など）にくわえて、『日本語歴史コーパス』のうち、平安時代と室町時代のデータが現時点で公開されています。

このように、二〇年間でかなり進んではきましたが、まだ、いろいろ穴があいています。そこで、これから六、七年の期間になにをするかというと、図6のような目標を立てています。

先ほど触れた、『国語研日本語ウェブコーパス（NWJC）』、対話とか、多人数の会話を記録した、日常会話のコーパス、方言のコーパス、日本語学習者のコーパス（I-JAS）、そして、『日本語歴史コーパス（I-JAS）』、

スも上代や鎌倉時代のデータを充実させていき、奈良時代から現代まで、細い線でよいからなんとかつながるように整備する計画です。もう少し別の見方をすると図7のようになります。時間の軸があり、話し言葉や書き言葉という、いわゆる位相の軸があつて、その上に地理的な差異、そして話し手の母語の影響をいれる多次元空間が日本語の内的多様性の全体です。今後そう遠くない時期に、この空間全体を対象として、包括的なコーパス検索を可能にする利用環境を整備していく予定です。

## オンライン検索ツール

さて、こういったコーパスは、公開しただけではあまり活用してもらえません。コーパスのデータは複雑な構造をしているので、検索にはかなり高いコンピュータリテラシーが必要とされるからです。そこ

図8 オンライン検索ツール

で『現代日本語書き言葉均衡コーパス』からは、検索用ツールもあわせて公開し、継続的に作りこむ努力をしてきました。現在、『少納言』と『中納言』という二種類のオンライン検索ツールが稼働しており、今年の秋からは新たに『梵天』というオンラインツールも公開する予定です(図8)。

一番広く使われている検索ツールは『少納言』です。これは登録不要でどなたにもお使いいただけます。現在は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のデータ一億語を対象としており、年間で八〇万回程度利用されています。

『中納言』では『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と『日本語歴史コーパス』のデータを形態論の情報をを利用して検索することができます。年間で三〇万件ほどの検索があります。近日中に『多言語母語の日本語学習者横断コーパス(I-JAS)』も『中納言』で検索可能になる予定です。『中納言』の利用も無償ですが、著作権保護の関係で利用申請をお願いしています。

図9は『中納言』の検索結果画面です。検索しているのは、動詞「そびえる」の終止形が、それ自身で文末を構成している例です。画面が細かすぎてよく見えないと思いますが、画面に表示されている用例をみると検索対象の動詞は「そびえる」と仮名で表記されていたり、「聾える」と漢字仮名交じりで表記されています。そのような表面的な表記の相違に惑わされずにすべての用例を検索できるのが、解体論情報を使った検索の強みです。もちろん種々の活用形の違いなども吸収することができます。ちなみに『現代日本語書き言葉均衡コーパス』には、どこかが文末かの情報も付与されているので、それを検索に

13 件の結果が見つかりました。

(検索対象語数: 124,100,964、空白・記号・補助記号を除いた検索対象語数: 104,911,460)

□ テーブルの幅を固定 短

サンプル ID	前文脈	キー	後文脈	活用形	レジスター	執筆者	書名/出典	出版社	出版年
LBs2_00036	を 潜る と 直ぐ 中央 広場 で 、 堂々 たる 大階段 上に 街の シンボル 、 ドウオモ が	聴える	。#十 世紀 起源 、 十 三 世紀 拡張 、 十 八 世紀 バロック 様式 に 改革 、 十 九	終止形 -一般	図書館・書籍	斐 滋(著)	イタリア再発見	中央公論事業出版	2004
PM31_00272	施設 [あかつきの]村川は 小高い丘 の上 にある。#背後 には 赤城 連峰 が	そびえる	。#村の 入り口 には 、 門も 柵も ない 。 村長の 石川 能也 神父 。	終止形 -一般	出版・雑誌	瀬川 正仁(著)	春しの手帖	春しの手帖社	2003
OY15_03179	大分 由布市 湯布院町 ( 旧国 豊後 国 ) にある 温泉 で すぐ そば に	聴える	#由布 岳の 恵み を 受けた 豊富な 湯量 を 誇る かつて は ひなびた 温泉 で 回体 観光	終止形 -一般	特定目的・ブログ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
LBo2_00097	間の 進行 方向 左手 に 男体 山 ( 二千四百八十四メートル ) などの 日光 連山 が	そびえる	。#鬼怒川 は 桜木 渓 北西部 の 山地 に みなもと 庵 発 、 茨城 県 南西 部 で	終止形 -一般	図書館・書籍	竹内 均(著)	竹内均の日本地誌	ニュートンプレス	2000
PB56_00113	の 晴れた 日など は 電車 の バック に 雪 を 映した 三千メートル 級 の 山々 が	そびえる	。#東京 :- 東京 急行 電鉄 が 世田谷の 下町 に 世田谷綱 を 運行 する が 、 東京 7	終止形 -一般	出版・書籍	谷川 一巳(著)	ローカル線こだわりの旅	角川学芸出版; 角川書店(発売)	2005
LBk2_00051	入った の だ なし といふ 印象 を オレ に 与えた 。#前方 は 険しい 山 が	そびえる	。#側 を 谷 にして 、 登って き た 時 より も 急な 坂 を 下 つ	終止形 -一般	図書館・書籍	池田 拓(著)	南北アメリカ徒步縱横断日記	無明舎出版	1996
PB49_00244	#現在 の 社殿 は 伊達 家 が 造宮 したもの で 、 二百二 段 の 石段 が	そびえる	。#境内 に ある シオガマサクラ は 国の 天然 記念物 に 指定 され て いる 。 塩竈 神社	終止形 -一般	出版・書籍	実著者不明	奥の細道	学習研究社	2004

動詞「そびえる」の終止形がそれ自身で文末を構成している例

図9 『中納言』の検索結果画面

The screenshot shows the 'Kotonoha' search application interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for '中納言' (Kotonoha), 'コーパス検索アプリケーション' (Corpus Search Application), and '中納言 2.1.1. 短単位データ 1.1. 長単位データ 1.1'. Below the navigation, there are three search buttons: '短単位検索' (Short Unit Search), '長単位検索' (Long Unit Search), and '文字列検索' (String Search). The main area displays search results for 'そびえる'.

Search results table:

サンプル ID	前文脈	キー	後文脈	活用形	レジスター	執筆者	書名/出典	出版社	出版年
LBs2_00036	を 潜る と 直ぐ 中央 広場 で 、 堂々 たる 大階段 上に 街の シンボル 、 ドウオモ が	聴える	。#十 世紀 起源 、 十 三 世紀 拡張 、 十 八 世紀 バロック 様式 に 改革 、 十 九	終止形 -一般	図書館・書籍	斐 滋(著)	イタリア再発見	中央公論事業出版	2004
PM31_00272	施設 [あかつきの]村川は 小高い丘 の上 にある。#背後 には 赤城 連峰 が	そびえる	。#村の 入り口 には 、 門も 柵も ない 。 村長の 石川 能也 神父 。	終止形 -一般	出版・雑誌	瀬川 正仁(著)	春しの手帖	春しの手帖社	2003
OY15_03179	大分 由布市 湯布院町 ( 旧国 豊後 国 ) にある 温泉 で すぐ そば に	聴える	#由布 岳の 恵み を 受けた 豊富な 湯量 を 誇る かつて は ひなびた 温泉 で 回体 観光	終止形 -一般	特定目的・ブログ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
LBo2_00097	間の 進行 方向 左手 に 男体 山 ( 二千四百八十四メートル ) などの 日光 連山 が	そびえる	。#鬼怒川 は 桜木 渓 北西部 の 山地 に みなもと 庵 発 、 茨城 県 南西 部 で	終止形 -一般	図書館・書籍	竹内 均(著)	竹内均の日本地誌	ニュートンプレス	2000
PB56_00113	の 晴れた 日など は 電車 の バック に 雪 を 映した 三千メートル 級 の 山々 が	そびえる	。#東京 :- 東京 急行 電鉄 が 世田谷の 下町 に 世田谷綱 を 運行 する が 、 東京 7	終止形 -一般	出版・書籍	谷川 一巳(著)	ローカル線こだわりの旅	角川学芸出版; 角川書店(発売)	2005
LBk2_00051	入った の だ なし といふ 印象 を オレ に 与えた 。#前方 は 険しい 山 が	そびえる	。#側 を 谷 にして 、 登って き た 時 より も 急な 坂 を 下 つ	終止形 -一般	図書館・書籍	池田 拓(著)	南北アメリカ徒步縱横断日記	無明舎出版	1996
PB49_00244	#現在 の 社殿 は 伊達 家 が 造宮 したもの で 、 二百二 段 の 石段 が	そびえる	。#境内 に ある シオガマサクラ は 国の 天然 記念物 に 指定 され て いる 。 塩竈 神社	終止形 -一般	出版・書籍	実著者不明	奥の細道	学習研究社	2004

図10 『中納言』：検索条件指定画面

図12は『国語研日本語ウェブコーパス』のために開発中のオンライン検索ツール『梵天』の画面です。動詞の「そびえる」を検索の対象としていますが、それだけでなく、山がそびえる、ビルがそびえる、のように「名詞 + が」が「そびえる」を修飾している例

利用できます。

図10は、『中納言』の検索条件指定画面です。単語が「そびえる」、活用形が終止形で、文末から二語以内にある例を探せ、と指定しています。このような指定を行うと、内部的には検索式が形成され（図11）、これを保存することができます。したがって、自分がどんな検索をしたかをすべて記録に残しておくことができ、後日、同じ検索を実行することが可能になります。

(両者が係り受けの関係にある例)を検索しています。図13が検索結果です。係り

受けの関係にある語は隣接しているとはかぎりません。たとえば、「櫓がひときわそびえる」のように、あいだに一語入っている場合がありますが、このような用

例も検索できます。なかには、「レインボーブリッジが、その名の通り虹のような空に弧を描いて東京湾の出口に高くそびえている」のように、遠距離の係り受けが生じることもありますが、これらも一網打尽にひっかけることができます。

## コーパスが捉えた現代日本語の変異

さて、ここからはコーパスを利用して現代日本語の多様性の実態を調べてみることにしましょう。とりあげるのは、いざれも内省するのが難しい例です(図14)。

最初に「NHK」はどういう発音されているでしょうか? 少し考えてみてください。いろいろな発音の仕方がある

```
キー:(語彙素 = "聳える" AND 活用形 LIKE "終止形%")  
WITHIN 2 WORDS FROM 文末 WITH OPTIONS unit=  
"1" AND tglBunKugiri= "#" AND tglWords= "20" AND  
limitToSelfSentence= "0" AND tglKugiri= "|" AND  
endOfLine= "CRLF" AND encoding= "UTF-16LE" AND  
tglFixVariable= "2"
```

動詞「そびえる」の終止形がそれだけで文末を構成している例を検索した際に自動生成される検索式。保存して再利用できる。

図11 『中納言』の検索式

超大規模corpus検索システム(仮称)

文字列検索 品詞列検索 係り受け検索

係り受け検索

名詞 <品詞2> <品詞3> <品詞4> <活用型> <活用形> 語彙素読み 語彙素

か <品詞1> <品詞2> <品詞3> <品詞4> <活用型> <活用形> 語彙素読み 語彙素

聳える <品詞1> <品詞2> <品詞3> <品詞4> <活用型> <活用形> 語彙素読み 語彙素

URL ドメイン

※ac.jpなど末尾2パート

検索

検索条件を初期化する



「名詞+が」が「そびえる」を修飾している(係っている)例の検索

図12 『国語研日本語ウェブコーパス』オンライン検索ツール『梵天』

ことはわかると思いますが、どれくらいあって、どれが一番多いでしょうか。

また、いわゆる、ら抜きことばの「来られる」と「来れる」は、話し言葉で検索したとき、どちらが多いか？ これについては、皆さん意見が一致すると思いますが、どれくらい多いかも考えてみてください。

さらに、動詞に「です」がつく、「読むです」「行くです」の形。話し言葉で使う人はいそうですが、書く人はいるでしょうか？

もう一つ、可能の意味で「読める」「行ける」ではなく、「読めれる」「行ける」と書く人はどのくらいいるか？ そんな人はいないと思うかもしれません、実はいるんですね。

そして、「～しそうにない」と「～しなさそう」はどちらが多いか？ 「～すべきでない」と「～しないべき」はどうか？ 少し考えてみてください。

では、これから実際の検索結果を紹します。まず、「NHK」については、図

22	名詞 助詞 〔路地 の〕〔彼方 に〕	名詞 助詞 助詞 〔高層ビル が〕〔そびえて〕	
23		名詞 助詞 副詞 〔槽 が〕〔ひとぎわ〕 動詞 助詞 助動詞 〔聴え て 見えます〕	
24		名詞 助詞 形容詞 〔連山 が〕〔遠く〕〔動詞 指助記号 聴え、〕	名詞 名詞 助詞 助詞 〔反対側正面 には〕〔神社 の〕〔鳥居 越し 助詞 名詞 名詞 名詞 助詞 に〕〔標高〕〔504m の〕〔八剣山 補助記号 名詞 (観音)〕
25	名詞 名詞 助詞 〔煉瓦 造り の〕〔城壁 で〕〔囲まれ 、〕 名詞 助詞 形容詞 接尾辞 〔城塞 に は〕〔高 さ〕〔80m の〕 名詞 名詞 助詞 〔トロイツカヤ 塔 など〕〔19の〕	名詞 助詞 動詞 助詞 〔尖塔 が〕〔そびえて 動詞 いる〕	
26	名詞 助詞 动動詞 助動詞 助詞 〔予想 は〕〔外れまし た が〕〔高く 助詞 連体詞 て〕〔大きな〕	名詞 詞 名詞 助詞 〔レインボーブリッジ が 補助記号 連体詞 名詞 、〕〔その〕〔名 助詞 名詞 名詞 助詞 形状詞 の〕〔通り虹 の よう 助詞 名詞 助詞 な〕〔空 に〕〔 名詞 助詞 助詞 弧 を〕〔描いて〕〔 名詞 接尾辞 助詞 東京 港 の〕〔出口 助詞 形容詞 動詞 に〕〔高く〕〔聴え 助詞 助詞 ている〕	名詞 助詞 形容詞 名詞 助動詞 〔ことは〕〔良い〕〔ことです〕

図13 係り受け検索結果の画面

- ・「NHK」はどのように発音されているか？
- ・「来られる」と「来れる」は話し言葉でどちらが多いか？
- ・「読むです」「行くです」等と書く人はいるか？
- ・「読めれる」「行ける」は？
- ・「～しそうにない」と「～しなさそう」はどちらが多いか？
- ・「～すべきでない」と「～しないべき」は？
- ・Etc.

図14 内省してみてください

15の結果が得られます。これは『日本語話し言葉コーパス』に記録された日本語の独話データの分析ですが、一位は「エヌエチケー」で、圧倒的に高い数字を示しています。ご覧のように圧倒的な一位なのですが、これをあてられる人はほとんどいません。

日本語の発音辞典として有名なNHKのものと三省堂のものを調べてみると、一位の「エヌエチケー」だけでなく、二位の「エネーチケー」もみだしにのつていません。三位の「エヌエッチケー」と「エヌエイチケー」がでてくるだけです。辞典にはそれぞれの編集方針がありますから一概に批判はできませんが、実態を捉え損ねていることはたしかです。

次は、話し言葉で「来られる」と「来れる」のどちらが多いか。これはいうまでもなく年齢差と関係しています。**図16**は、横軸

発 音	頻 度
エヌエチケー	132
エネーチケー	24
エヌエッチケー	9
エヌエイチケー	7
エヌエチケー	3
エネーチケー	3
エヌエチケー	2
エヌエスケー	1
エヌチケー	1
エネーシケー	1

←発音辞書の見出し  
←発音辞書の見出し

図15 『日本語話し言葉コーパス』の検索結果

が話者の生まれた年代を示しています。このグラフの左半分は文化庁の国語課が二〇一年に実施した世論調査のデータで、ご覧の通り、「来れる」のら抜き言葉がどんどん増えてきて、一九七〇年代生まれの人のグループでは伝統的な「来られる」を逆転しています。これに対して、『日本語話し言葉コーパス』で

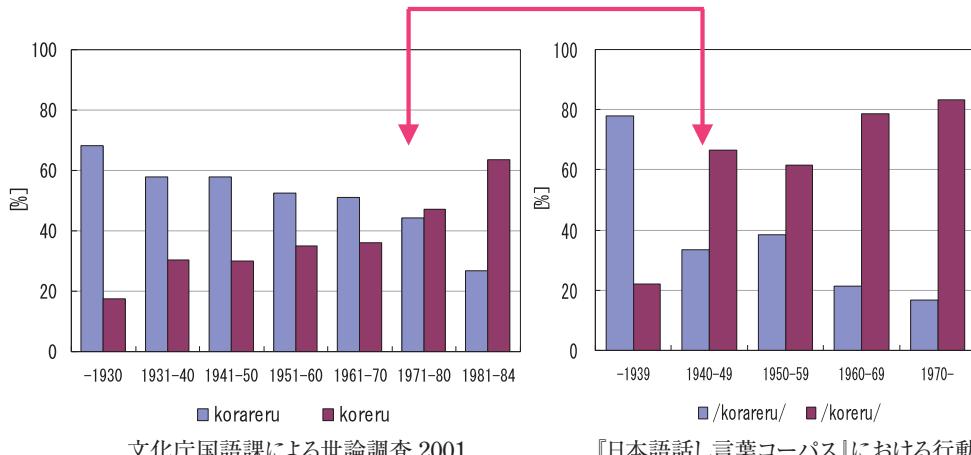
分析すると、**図16右**の結果となります。全体のパターンは同じだと思います。アンケートで意識を調べた場合と、実際の言語行動を調べるのとでは、このようなズレがでてきます。これは言語調査に携わる者にとって非常に重要な問題だと私は考えています。

ここからは書き言葉の例になります。まず、「読むです」「行くです」等の「動詞+です」の形(図17、1行目)。これを『現代日本語書き言葉均衡コーパス』で調べると、一億語に対して八二例が見つかります。それに対して、二五〇億語の『国語研日本語ウエブコーパス』の検索では二二、〇〇〇例近くみつかります(念のために注意しておくと『国語研ウエブコーパス』は現在インデックス作成中であり、二五〇億語全体が検索されているとはかぎりません。以下同様です)。

**図18**に『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の検索結果の一部を示しました。村上春樹や柳田邦男といった有名な著述家の書いた文章が含まれています。村上春樹さんの小説『世界の終わりとハードボイド・ワンドーランド』にでてくる例は、マッドサイエンティストの「博士」が変なしゃべり方をしているもので、いわゆる役割語です。一方、柳田さんの例はそのような例ではありません。ともかく、「動詞+です」はサザエさんのタラちゃんだけでなく、書き言葉でも、けつこう普通に用いられているわけです。その条件を分析するいろいろおもしろいことがわかつてきますが、きょうはここまでとします。

次は可能を表す「読める」「行ける」などの形。可能動詞に可能の助動詞がついたものとみて、私は二重可能形と呼んでいますが、最

## 逆転のタイミングに30年のずれ



文化庁国語課による世論調査 2001

『日本語話し言葉コーパス』における行動

図16 『日本語話し言葉コーパス』の検索結果

表現	BCCWJ (1億語)	NWJC (200億語)
動詞+デス	82	7,172
行ケレル、行ケレナイ、行ケレタ	6	62
～シソウニナイ／～シナサソウ	629 / 75	17,077 / 10,943
～スペキデナイ／～シナイベキ	245 / 11	3,018 / 205

図17 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ) と

『国語研日本語ウェブコーパス』(NWJC) の検索結果

サンプル ID	前文脈	キー	後文脈	活用形	レジスター	執筆者	書名/出典	出版者	出版年
OB2X_00159	あんたのあっしゃるるあります。#そのにこにこしてます私(れ)私(れ)に反省(し)して	ある	#後悔(はいがい)なんか反省(し)してあるです。しかし弁解(べんげき)するわけじゃないです	終止形 一般	特定目的・ペーストセラー	村上 春樹 (著)	世界の終りとハードボイルド・ワンドーランド	新潮社	1985
OY14_44167	ので僕(わたくし)が付(つ)いていたターンが多(多く)あります。#起きてたら起きとどうぞって言ううど	思う	「～#あくまでも、起きてたらね」((笑)) Igret mz	終止形 一般	特定目的・ブロゴ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
OC14_03979	・懇親(きんしん)+語油(ごゆ)イ刃(いん)口(くち)味(み)汁(じ)かたまごかけ!ト生(なま)イ語油(ごゆ)	かける	い。#この場合(あかず)は無く、慣物(くわんぶつ)ぐらいであります。おかずがあるなら、普通(ふつう)に白米(しろまい)	終止形 一般	特定目的・知恵袋		Yahoo!知恵袋	Yahoo!	2005
OB2X_00159	かの前輪(まへりん)を前にする#それ以外(ほか)の状況(じょうけい)が眼中(なかまな)になってしまふきみんかい	ある	#まだ歩(ある)き方(かた)で進歩(しんほ)歩(ある)き方(かた)でまたうけだ。	終止形 一般	特定目的・ペーストセラー	村上 春樹 (著)	世界の終りとハードボイルド・ワンドーランド	新潮社	1985
OY14_46352	二(lmm)用(用)ですた ～ >#ま ～ 良いです  われまた!十一 .五(lmm)用(入)	する	#新型INOVAROSSIIとIOSITI用(用)ですね早速(はやそく)練習(れんしゅ)です	終止形 一般	特定目的・ブロゴ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
OY14_43223	だとしのうのに「入り」#まだまだ安いです  なあ～#でも  最近(さいしん)感じ(う)るにとか	ある	い。#日(ひ)が長(なが)くなったよなあ～#dairai(の)会(え)社(しゃ)は十(じゅう)三(さん)三十(さんじゅう)営業(えいぎ)	終止形 一般	特定目的・ブロゴ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
OY15_01489	、違う(う)つて! #裏(うら)失(しつ)人(じん)「はわわわ!トトト! み、身(み)の危険(きけん)を	感じる	い。#二(に)回(かわ)り、裏(うら)失(しつ)人(じん)「高(たか)嶺(ねね)、裏(うら)失(しつ)人(じん)」ときぼ瑟(ときぼせき)して壊(こわ)して	終止形 一般	特定目的・ブロゴ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
OC09_03684	。 ホコリ(ほこり) や寒暖(さんぬる)(の)差(さ)に気(き)を付(つく)けて 下(さ)れ。 そして規則(きそく)正しく、廢(ひ)	食べる	##私は(わ)幸(さいわい)り、寒(さむ)が(き)いたの!と生活(せいかつ)慣(なま)きを見直(みのぞ)した事(こと)により	終止形 一般	特定目的・知恵袋		Yahoo!知恵袋	Yahoo!	2005
PB24_00273	に網(あみ)を持(も)つた家の(いえ)がに軒(あわせ)あって、 人(ひと)手(て)伝(つた)す	手伝う	#。#いろんな魚(うお)が(あ)れています。#中崎(なかさき)村(むら)の 村(むら)の 者は(は)心(こころ)が(あ)れています。#	終止形 一般	出版・書籍 (著)	柳田 邦男 (著)	ホスピス通りの四季	新潮社	2002
OY03_08881	も(も)何も(も)解決(かいけつ)しない(ない)ので  Que!   Sera!   Sera!   なる  なる です  /seral/ /ke-sela-za-/ /naru/naru/yohu/  /bele/		# # (スペイン語)ですがトドク英語(영어)では  What(?) will(?) be!	終止形 一般	特定目的・ブロゴ		Yahoo!ブログ	Yahoo!	2008
LBb7_00014	調(しらべ)うる(うる)が詰(つ)められ 全部(ぜんぶ)の調(しらべ)のドリ  ほか読(よ)めたにと(に)	なる	い。# # (に)て、われわれ日本人(は)は11つの漢字(かんじ)をいろいろに読み分けている	終止形 一般	図書館・書籍 (著)	相原 未治 (著)	やさしい楽譜の読み方	音楽之友社	1987
OB2X_00153	は(は)すすり 私(わたし)は誰(だれ)か知らない(ない)  おる  です  /suri/ /watashi/ /desu/ /tarai/ /nai/		# # 総(そう)括(くわく)的(てき)の上(じょう)部(ぶ)としません! 太(たい)り!	終止形 一般	特定目的・ペーストセラー	村上 春樹 (著)	世界の終りとハードボイルド・ワンドーランド	新潮社	1985

図18 「動詞+です。」

近では音の特徴から「レ足す言葉」と呼ぶ人が多いようです。これは、『現代日本語書例』しかなく、また動詞も「行く」にかぎられています。これだと間違いかなあという気もしますが、『国語研日本語ウェブコーパス』を調べると、多くの動詞に生じていることがわかります(図19)。二百五十億語という規模がものをいって、生起確率の低い現象が拾いあげられています。

次の「～しそうにない」と「～しなさそう」について、普通、「しなさそう」は間違いだといわれます。しかし、コーパスの検索結果では驚くべき結果がでてきます(図17、3行目)。もともと『現代日本語書き言葉均衡コーパス』でも、「～しそうにない」が

### BCCWJ

動詞	レル	レナイ	レタ
行ヶ	3	2	1
聞ヶ	0	0	0
書ヶ	0	0	0
遊ベ	0	0	0
歩ヶ	0	0	0
出来	0	0	0
描ヶ	0	0	0
飛ベ	0	0	0
聴ヶ	0	0	0
読メ	0	0	0

### NWJC

動詞	レル	レナイ	レタ
行ヶ	32	28	2
聞ヶ	5	1	2
書ヶ	4	1	0
遊ベ	4	0	0
歩ヶ	3	0	0
出来	2	0	0
描ヶ	2	2	1
飛ベ	1	0	1
聴ヶ	1	1	0
読メ	1	1	0

図19 「二重可能」(レ足す言葉)

15	名詞 動詞 助詞 助動詞 【鞆葉】 [かけ ても]	動詞 [くつか]	形容詞 形状詞 助動詞 助詞 助動詞 名詞 【なさ そう の】 [こと]
16	名詞 形容詞 様助記号 感動詞 様助記号 名詞 助詞 【遠巡なく】 [「ああ、」] [大久保で] 動詞 助動詞 名詞 動詞 助動詞 助詞 助動詞 【やつたら】 [カウンター] [食らつたので]	名詞 動詞 [反抗し]	形容詞 形状詞 助動詞 名詞 助詞 名詞 助詞 【なさ そう な】 [どこ で] [溜飲 下げるの 助詞 様助記号 感動詞 ね】 [と]
17	名詞 名詞 助動詞 動詞 名詞 助詞 【躊躇 半端 に】 [踊る] [自分を]	動詞 [許さ]	形容詞 形状詞 助動詞 助詞 助動詞 様助記号 副詞 代名詞 【なさ そう の で、】 [多分] [それ 形容詞 名詞 助詞 動詞 助詞 】 [正しい] [気が] [します]
18	名詞 動詞 名詞 助詞 動詞 助詞 助動詞 助動詞 【趙雲】 [子供って] [出てこないか 助詞 助詞 動詞 助詞 様助記号 名詞 接尾辞 助詞 なあど] [思ひうど] [三國志] [に] [ 形容詞 名詞 副詞 名詞 動詞 助動詞 詳しい] [個人曰く] [あまり] [活躍して 助動詞 助動詞 助詞 助詞 助動詞 なかつたど] [ことな] [ことな] [ので]	名詞 動詞 [期待でき]	形容詞 形状詞 助動詞 【なさ そう です】
19	名詞 動詞 【贅沢 は】	動詞 形容詞 形状詞 助動詞 【好ま なさ そう だ 助詞 様助記号 けど、】	代名詞 動詞 動詞 名詞 助詞 形状詞 助動詞 【そこ に】 [ある] [材料 で] [簡単 に] 形容詞 名詞 助詞 動詞 助詞 様助記号 様助記号 【美味しい】 [もの を] [作れる の は] [悪い 助詞 動詞 助動詞 ど] [思つて]
20	名詞 助詞 【譽 は】	動詞 形容詞 形状詞 助動詞 【つま なさ そう に】	名詞 助詞 動詞 助詞 【溜息 を】 [つい た】
21		名詞 助詞 様助記号 様助記号 【數 は】 [・] 動詞 助詞 助詞 入れて もらえ】	形容詞 形状詞 助動詞 助詞 様助記号 様助記号 【なさ そう だ し 】
22	名詞 名詞 助詞 副詞 形容詞 助詞 【薔薇 乙女 は】 [正直] [怖くて]	動詞 [読め]	形容詞 形状詞 助動詞 助詞 様助記号 名詞 接尾辞 助動詞 【なさ そう だ が】 [（薔薇 的 に 補助記号 ) ]

図20 「～シナサソウ」

六二九に対し、「～してしなさそう」が七五で、「～しなさそう」が少くはないのですが、ウェブコーパスで調べると、一七、〇〇〇〇に対して一、〇〇〇〇くらいと、頻度差がほとんどなくなっています。もはや誤りだと切って捨てることができない状態です。ウェブコーパスでは、「くつつかなさそう」「反抗しなさそう」「許さなう」など、動詞もいろいろなものがでてきます（図20）。

「～すべきでない」と「～しないべき」では、前者が正しいといわれています。誤りとされている「～しないべき」は、『国語研日本語ウエブコーパス』でもさほど多くは観察されませんが、分布パターンがちょっとおもしろい（図21）。「萌えるべきなのか、萌えないべきなのか」「消すべきか、消さないべきか」「分けるべきだ分けないべきだと論争する」のような文脈、（ハムレット文脈と私は呼んでいます）が非常に多く、この文脈で変化が先行していることがわかります。

最後に、コーパスはまだ大きければよいのではないという例を示します。例としていわゆる自動詞の「泣く」と「死ぬ」が目的語を伴つて他動詞のように用いられている例を検索します。「～を泣く」「～を死ぬ」の頻度は非常に低いものの、絶無ではありません。『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を調べると、「～を泣く」が一例、「～を死ぬ」が四例見つかります。

さて、それでは『国語研日本語ウエブコーパス』を調べたらもととたくさん見つかるかというと、実はまったく見つかりません。これはなぜでしょうか。

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に見つかった「～を死ぬ」

3	〔嗚呼、〕〔萌えるべきなのか、〕	〔萌えないべきなの 助詞 か〕	
4	〔話は〕〔変わりますが、〕〔Q： 名詞 助詞 名詞 助詞 名詞 助動記号 名詞 助詞 会社の〕〔トイレの〕〔電気、〕〔必要な 形容詞 名詞 助詞 动詞 助動詞 助詞 助動記号〕 〔ない〕〔ときには〕〔消すべきか、〕	〔動詞 助動詞 助動詞 助詞 消さないべきか〕	
5	〔話し〕〔変わつて〕〔p〕〔入れるか〕	〔入れないべきか〕	〔迷つてゐんたよなあw〕
6		〔動詞 助動詞 助動詞 助詞 話さないべきなの 助詞 助動詞 助詞 助詞 かなんです〕	
7	〔話している〕〔倒の〕〔勝手な〕〔見解 助詞 助動記号 动詞 助動詞 助詞 助詞 に〕〔より、〕〔分けるべきだ〕	〔分けないべきだ ど〕	〔名詞 助詞 助詞 助詞 論争するのは〕〔ばかりでいるど〕〔思つ 〕
8	〔余計な〕〔口出しを〕	〔しないべきか〕	
9	〔予防接種以外の〕〔ことに〕〔ついても 補助記号 接頭辞 名詞 接尾辞 助詞 、〕〔あ医者様の〕〔立場から、 副詞 助詞 助動詞 名詞 助詞〕 〔かなり〕〔笑っ込んだ〕〔意見や〕 〔名詞 名詞 助詞 助詞 助詞 助動記号 具体例なども〕〔記されていて、〕 〔補助記号 助詞 助動詞 助詞 〔「受けるべきか〕	〔受けないべきか 補助記号 助詞 〕〔を〕	〔名詞 助詞 助詞 助詞 検討するには〕〔とても〕〔参考に〕〔でき 助詞 助詞 まし た〕
10	〔予備校に〕〔行くべきか〕	〔動詞 助動詞 助動詞 助詞 行かないべきか 補助記号 ...〕	
11	〔名詞 接尾辞 助詞 助詞 助詞 予備校に〕〔行くべきか〕	〔動詞 助動詞 助動詞 助詞 行かないべきか 補助記号 名詞 名詞 助動詞 ... - BIGLOBE な 助詞 助動詞 助詞 んでも〕	〔名詞 接尾辞 相談室〕

図21 「～シナイベキ」

はすべて「彼は自分の死を死んだ経験者だった」のような「死を死ぬ」の例であり、書き手は文学者・評論家（有島武郎、田村隆一、五島勉、南伸坊）にかぎられています。『現代日本語書き言葉均衡コーパス』では、韻文を含めて多くの文芸書がサンプリングの対象になっていますが、どうもウェブには日本語の文学作品はあまり載っていないようです。規模は大きくなくても、綿密に設計して構築した均衡コーパスには固有の価値があることを示す例といえるでしょう。

## まとめにかえて

最後に、言語資源を整備すると、今後の言語研究にどのような影響が及ぶかという問題を少し考えてみたいと思います。今日の話の後半で紹介した例でおわかりいただけたと思いますが、反省やアンケートに頼らず言語内多様性を把握しようとしてもうまいかない例がたくさんあります。コーパスを利用することで、言語内多様性を実際の言語行動のデータに基づいて研究する可能性がでてきました。これが重要だと私は考えています。さきほどの、「～しなさそう」のように、量的にみるともはや逆転が生じそうな現象の場合、それでも「～しそうにない」が正しくて「～しなさそう」は誤りだと主張するためには、その根拠をきちんと示すことが要請されます。単なる直観では説明になりません。

従来の言語研究は、ややもすると規範的で正しいと思われているものだけを対象として進められる傾向がありました。コーパスの存在を前提とした今後の研究では、正しくないとされているものでも、実際

に用いられているものは、すべて対象とした研究が行われるようになるだろうと思います。

要するに、複雑多様な言語現象を過度に単純化せず、複雑なものは複雑なままに理解しようとする姿勢が求められています。そのためには、従来の言語研究法にくわえて、情報科学や統計科学との連携が必要不可欠になってくるでしょう。昨今、文理融合という言葉を頻繁に耳にするようになってきましたが、コーパスを用いた言語研究はその好例を提供できるのではないかでしょうか。

これで私の発表をおしまいとします。



# 〈ソトから見た日本語の特質と普遍性〉 日本語の音声～促音(っ)の謎～

理論・構造研究系教授

**窪園 晴夫**

## はじめに

ちょっと変わった名字で恐縮ですが、窪園と申します。草冠の「園」が付く名字は典型的な鹿児島県の名前ですが、窪園というのは鹿児島でも比較的珍しく、日本全国で二五〇人くらいしかいないそうです。その意味では、消滅の危機に瀕した名字だと思います。とは言つても、日本全国では約一二万の名字があり、その中では真ん中あたりに位置するそうですので、私より珍しい名字の方は多くいらっしゃることになります。

私が所属する理論・構造研究系は、日本語を外から眺めることで、他の言語との対照をもとに日本語の構造、特質を考える研究系です。本日の話は、その中で促音「っ」にテーマを絞りお話ししたいと思います。

皆さんの中にも日本語教育に関係している方がたくさんいらっしゃると思いますが、日本語学習者が促音「っ」をうまく発音できないことは日常的にご存じだと思います。私も海外に行くとよく経験します。この前も台湾に行つた際、五十肩を治すためにマッサージ店に行きましたが、マッサージが終わって帰る際に「ちょっと待て！」と大声

で呼びかけられてドキッとしました。何事かと見ていると、店の奥からお茶とお菓子を持ってきました。お茶を飲んで帰れということだったのでしょうか。その人の意図としては、「ちょっと待つと言いたかったのだと思いま

すが、私としては非常にきつい口調で命令された気がしました。これだけではありません。「ちょっと来て」と「ちょっと切つて」では意味が違つてしまします。このように「っ」があるかないかで、意味やニュアンスが変わってしまうという特徴が日本語にはあります。日本語教育でも促音は習得がむずかしい音声特徴の一つとされており、「っ」がしつかりできる日本語学習者は日本語がよくできる上級の方です。

### 窪園 晴夫 (くぼぞの はるお)

理論・構造研究系教授。Ph.D. (言語学) (エジンバラ大学)。鹿児島県川内市(現薩摩川内市)生まれ、母語は鹿児島方言。大学院(名古屋大学)までは英語音韻史を専攻していましたが、イギリス留学中に母語に対する無知を悟り、日本語の音声研究を始めました。研究対象は英語から日本語へ、標準語から鹿児島方言へと、経歴とは逆方向に推移しています。主な著書に『The Organization of Japanese Prosody(1993)』、『語形成と音韻構造』(1995)、『アクセントの法則』(2006)、『数字ことばの不思議な話』(2011年、岩波書店)など。



世界の言語を見ると、促音（言語学では「重子音」と言います）のある言語は少なくはありません。アジアではトルコ語、ペルシャ語、ベンガル語、インドのヒンディー語、マラヤラム語、タイで話されているマレー語などがあり、アフリカに行くと、カイロのアラビア語やベルベル語、ヨーロッパでもギリシャ語、ハンガリー語がこの特徴を持っています（図1）。このように促音を持つている言語は少くはないのですが、残念ながら、これらは世界の主要な言語ではありません。国連の公用語六つの中で促音を持つているのはアラビア語だけです。政治力は言葉の世界でも幅をきかせているようで、政治力のない言語はなかなか研究されません。その中で、私どもは、促音のある言語の中心になつて日本語の研究を進めているわけです。

## 外来語促音の謎

きょうは促音の中でも「外来語の促音」を取り上げます。外来語における促音の出方はまるで神出鬼没です。たとえば、「cap (キャップ)」には促音が入り、「cab (キャブ)」には入りません。「pick (ピック)」には入りますが、「peak (ピーク)」だと入ません（図2）。

このことを英語話者に話すと、なぜだと逆に聞かれます。英語母語話者としては「pick」と「peak」は母音が違うだけで、「k」 자체に変わりはないのに、なぜ日本人は「pick」に促音を感じて「peak」に感じないのかと、逆に問い合わせられるのです。

### ■ 日本語学習者の発音

「ちょっと待て」—「ちょっと待って」  
「ちょっと来て」—「ちょっと切って」

### ■ 促音（重子音 geminate consonant）

Persian, Bengali, Hindi, Malayalam, Pattani Malay, Japanese, Turkish; Arabic, Berber; Cypriot Greek, Hungarian, Italian, Swiss German, Estonian, Finnish, Saami, … (Kubozono, H. (ed.) *The Phonetics and Phonology of Geminate Consonants*, Oxford UP. 2016)

図1 はじめに

1. **cap キャップ**—**cab キャブ**, **lock**—log, **rack**—lag
2. **pick**—peak, **mitt**—meat, **mid**—mead
3. **tot**—toss, **tup**—tough, **tap**—taff
4. **kiss**—**cash**, **cough**—Gogh, **puff**—Bach
5. **max**—mask, **tax**—task, **lax**—rask
6. **cap**—captain, **fax**—facsimile, **sax**—saxophone
7. **happy**—happiness
8. **less**—lesson, **lis**—listen—listener, listening
9. **tough**—stuff, **staff**, log—flog, tub/tab—stab
10. **kitchen**—chicken

図2 外来語促音の謎

に、「sax (サックス)」には入りますが、その元となつた「saxophone (サキソフォン)」は入ません。やむに「happy (ハッピー)」には入り、「happiness (ハピネス)」には入ません。不思議な現象です。

単語が長くなつたら入らないのかと思いきや、そうでもありません。「less (レス)」には入らなければ、「lesson (レッスン)」には入り、「tough (タフ)」には入らず、やむに「s」をつけただけの「stuff, staff (スタッフ)」は促音が聞こえます。

つい最近も留学生に聞かれました。「kitchen (キッチン)」には促音が入るのに「chicken (チキン)」に入らないのはなぜか、「キ」と「チ」が入れ替わつただけなのに。

### 促音に関する一つの疑問

原因だという可能性があります。

以上のような例が出てきたとき、私たち言葉を研究する者としては、二つの大きな疑問を抱きます。一つは、促音がどのような条件のもとに出現するかという問題です。たとえば、「kitchen (キッチン)」と「chicken (チキン)」の違いはたまたま別の二語（だけ）に出てきたものなのか、あるいは似たような例がもつとたくさんある

のでしょうか。「bridge (ブリッジ)」には促音がありますが、自分の名前を元にブリヂストンを創設した石橋さんは、会社名をつくったときに促音を入れていません。このような例が一般的なのでしょうか。これが一つ目の疑問です。次に、もし一般的だとすると、その条件を作り出している要因は何なのでしょうか。これが二つの疑問になります。

二つの疑問を考えてみます（図3）。なぜ特定の位置に促音が入るのか、この疑問に対する一つの答えは、「偶然そののだ」という可能性です。その可能性はゼロではありませんが、これを言い出すと学問はそこでストップしてしまいますので、初めからそうだと決めつけることはできません。何か理由があるのでないかと思うところから研究は始まります。そりや一つ考えられるのは、文字（綴り字）の影響です。たとえば、「kitchen (キッチン)」には「t」があり、これが促音の原因だという可能性があります。

- 促音がどのような条件のもとで出現するか?
  - ・ kitchen (キッキン) - chicken (チキン)
  - ・ bridge (ブリッジ) - Bridgestone (ブリヂストン)
- その条件を作り出している要因は何か?
  - (1) 偶然?
  - (2) 文字(綴り字)の影響?
  - (3) 原語(英語)に違いあり?
  - (4) 日本語の構造に原因?(知覚のメカニズム、音韻構造)

図3 疑問

そこで、無意味語を作り—たとえば「kitchen」の k を m にして「mitchen」に、また「chicken (チキン)」を「micken」にして—英語話者に発音してもらい、その音声を日本人に聞かせる。このようにして、文字情報がない条件下で促音を聞き分けることができるかどうかを調べる方法があります。

そのように調べてみて文字の影響ではないか? になれば、さらに二つの可能性が考えられます。一つは、原語の影響です。日本の外来語の八五%は英語から入っていますので、原語として主に英語の発音に要因があるのでないかと考えられます。もう一つは、日本語の側の問題、つまり日本人の耳（知覚のメカニズム）や音韻構造に要因があるのではないかという仮説です。

## 本日のテーマ「位置効果」

そこで、今日考えてみたいのが促音の「位置効果」です(図4)。これは、日本人は語末付近に促音を感じやすいという傾向で、英語から入った外来語では広範囲に見られます。たとえば、「ジ」が語末に出てくる「bridge(ブリッジ)」では促音が入りますが、「ジ(ヂ)」が語中に出てくる「Bridgestone(ブリヂストン)」には入りません。ブリヂストンの創設者・石橋さんが橋と石をひっくり返さなかつたら、「ストンブリッヂ」という社名になっていたと思われます。実際に「ストンブリッヂ」という名前の会社はあり、その社名には促音が入ります。

促音はまた、「sax(サックス)」には入りますが、「saxophone(サキソフォン)」には入ません。「mix(ミックス)」に入り、「mixer(ミキサー)」には入ります。極めつきは、「picnic(ピクニック)」です。同じ「c」が二つあり、その前に同じ母音の「i」がありますが、後ろの「c」にだけ促音が入ります。英語の二音節語ではアクセントはほとんど語頭にありますか、最初の「pic」が強くて長いはずです。しかし、日本人はどうも語頭付近には促音を聞かないようだ、「picnic(ピクニック)」のような例が多数出できます。

例が多数あるということとは特定の語だけの特徴ではないということを意味します。そこで問題になるのが先に述べた二つ目の問題、つまりなぜそのような規則性が出てくるのかという問題です。偶然でない

### 先行研究—日本語原因説

先行研究を見ると、日本語に原因があることを疑わせる証拠がいくつかあります(図5)。一つはイタリア語からの借用語です。日本語にはイタリア語がたくさん入っています。イタリア語は、日本語と同じように、重子音(促音)の有無で単語の意味が違います。そこで、

- 促音は語末付近に生じやすい(位置効果)

- (例) bridge(ブリッジ) — Bridgestone(ブリヂストン)  
sax(サックス) — saxophone(サキソフォン)  
mix(ミックス) — mixer(ミキサー)  
fax(ファックス) — facsimile(ファクシミリ)  
picnic(ピクニック、\*ピクニク、\*ピックニク、\*ピックニック)  
sex — sexy, box — boxer, dock — doctor, cap — captain

cf. Kubozono, et al. (2013) 'On the positional asymmetry of consonant gemination in Japanese loanwords,' *JEAL* 22 (4): 339-371.

図4 今日のテーマ

- イタリア語からの借用語(田中 2007)
- capello /kapello/ ⇌ cappello /ka<sup>p</sup>pello/ (髪の毛) (帽子)
- 広辞苑等の辞書に掲載された1,003語  
Rossini /rossi:ni/ → ロ<sup>s</sup>シーニ  
espresso /espresso/ → エスプレ<sup>s</sup>ソ  
tortelli /tortelli/ → トルテ<sup>t</sup>リ
- 促音化率: 单子音(0%) vs. 重子音(60%)
- 分節素条件: 無声阻害音(82%) > 有声阻害音(57%)> 共鳴音(10%)

図5 日本語原因説

『広辞苑』に掲載されたイタリア語から日本語に入った単語一、〇〇三二語について検討した研究があります。たとえば、「Rossini（ロッシー）」「espresso（エスプレッソ）」といった単語の促音が、どのように日本語に入っているかを調べた研究です。

普通、イタリア語で重子音がないものは、日本語でも促音がなく、イタリア語で重子音がある単語は日本語でも促音が入ると思われますが、その対応は一〇〇%ではありません。なぜ一〇〇%にならないかというと、一つには、子音のタイプによって、日本語に入る際に促音になりにくい音があるためです。英語から入った語でも「キャップ」と「キヤブ」のように、「p」と「b」では促音の出やすさがまったく違います。

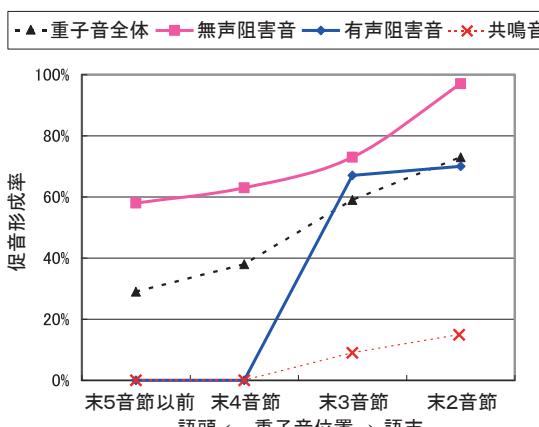
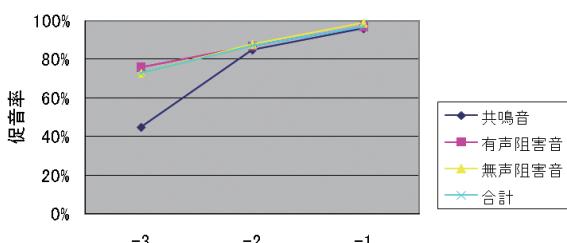


図6 イタリア語外来語の位置効果

- 知覚実験(田中・窪薙 2008)
- イタリア語108語(单子音54例、二重子音67例)
  - ・それぞれに対する促音知覚の分析
  - ・被験者は日本語話者60名
- 結果(促音知覚率)
  - ・单子音 << 二重子音
  - ・無声阻害音 >> 有声阻害音 >> 共鳴音
  - ・語中 << 語末

図7 イタリア語外来語の位置効果(続)



二重子音(onset)を含む音節位置(語末基準)

図8 イタリア語外来語の位置効果(続)

ます。イタリア語から入った外来語でも、子音のタイプによって日本人が促音を知覚するかしないかという違いが出てきます。

もう一つ、元のイタリア語の単語が重子音を語末に持っていたか、語末から離れた位置に持っていたかで、その単語が日本語に入ったらとき、促音が入りやすいかどうかが決まります。イタリア語で語末にあったものは、日本語では明らかに促音になりますが、語末から離れてしまうと促音にはなりにくいとすることがわかつています(図6)。

この研究をさらに進め、辞書に載っている外来語ではなく、耳で聞いたらどうなるかを調べた研究もあります(図7)。これは、日本人がほとんど知らないイタリア語の単語一〇八語(うち单子音が五四例、

重子音が六七例)をイタリア人に発音してもらい、その音声を刺激音として日本語話者六〇名に聞かせて促音の知覚を確かめるという実験です。そうすると、前述の実験とまったく同じ結果が得られました(図8)。特に、イタリア語で語末付近にあつた重子音が、日本人の耳には促音になつて聞こえ、語末から離れた重子音だと促音に聞かれ率が低下してしまいます。イタリア語から入った外来語

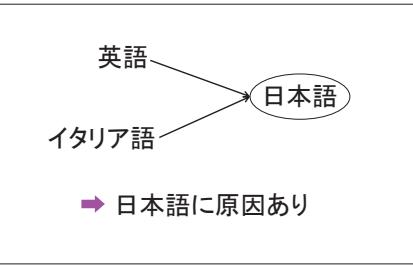


図9 まとめ

- 傍証
  - ・ Christ—Christmas, holy—holiday  
cf. cap—captain
  - ・ フィンランド語に入った英語
    - ・ cap→kap.pi, bug→ba.gi
    - ・ bush→bus.si, bus→bas.si
    - peak→piik.ki, park→paak.ki
    - ・ captain→kap.tai.ni,  
picnic→pik.nik.ki

図10 英語原因説

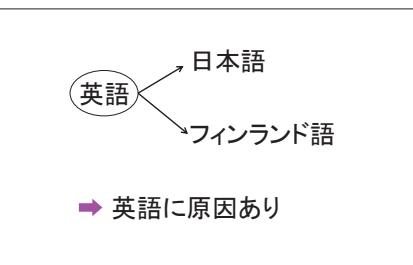


図11 まとめ

- 知覚実験
- 刺激音
  - ・ 1音節語 : nip, nit, nik
  - ・ 2音節語 :
    - (a) nipnip, nitnit, niknik (無加工)
    - (b) nipnip, nitnit, niknik (加工)
    - (c) nipnip, nitnit, niknik (加工)
- 被験者 : 日本語母語話者 42人

図12 Kubozono et al. (2013)

も、英語から入った外来語と同じパターンを示すわけです。」のことには、促音知覚の原因が日本語（日本人）にあることを示唆しています（図9）。食べ物にたとえていえば、英語圏から日本に入った食べ物と、イタリア語圏から輸入された食べ物に共通の問題（特徴）があつたとすると、受け入れた日本（語）側に原因があると推測できます。それと同じ推論が成り立つのです。

「...」では短くなるのです。「」から想像すると、「cap（キャップ）」と「captain（キャプテン）」の場合にも、capは文字で書いても発音記号で書いても一緒ですが、両者の間に何か音の違いがあつてもおかしくありません。

もっと重要なのが、英語からフィンランド語に入った外来語です。フィンランド語も日本語と同じように促音にあたるものを持つています。

その一方で、外来語の元になっている英語の側に原因があることを窺わせる傍証もあります（図10）。たとえば、「Christ（クリスト）」と「Christmas（クリスマス）」では、明らかに語末から離れると母音や子音が短くなります。「holy（ホーリー）」の母音が「holiday（ホリ

## 英語原因説

その一方で、外来語の元になっている英語の側に原因があることを窺わせる傍証もあります（図10）。たとえば、「Christ（クリスト）」と「Christmas（クリスマス）」では、明らかに語末から離れると母音や子音が短くなります。「holy（ホーリー）」の母音が「holiday（ホリ

ランド語に入った語に同じ特徴が見られる「位置効果」とから、英語そのものに促音有無の原因があることが窺えます（図11）。

## 知覚実験

このように、状況証拠としては日本語原因説と英語原因説の両方の可能性がありますが、それをもう少し客観的に調べたのが私どもの研究です（図12）。この研究では日本語母語話者四二名を対象にした知覚実験を通じて促音知覚のメカニズムを考察しました。具体的には、まず英語話者に意味のない一音節の単語nip、nit、nkなどと、二音節語実験を通じて促音知覚のメカニズムを考察しました。具体的には、まず英語話者に意味のない一音節の単語nip、nit、nkなどと、二音節語

nipnip、nitnit、niknikを発音してもらいます（英語では最初の音節にアクセントが置かれます）。これらの音声に加え、二音節語を加工したものを作りました。図12のように「nipnip」の後半（二音節目）を消して一音節語にすると、語頭の「nip」は見かけ上、語末に来るわけで、それを日本人がどう聞くかによって「位置効果」が本当に位置によるものであるかどうかを確認できます。同時に「nipnip」の最初の音節を消して一音節にしたときに日本人がどう聞くかも調べてみました。結果を図13に示します。

まず、元々のnipという語の場合、促音知覚率は八六%です。一方、二音節語のnipnipでは、前の方のnipには促音はまったく知覚しませんが、後ろのnipには、一音節語と同じように促音が聞こえるという結果が得られました。まさに外来語と同じ結果です。このことから、外来語の促音パターンは文字に影響されているのではなく、基本的に日本人が耳でそれを聞き分けていることがわかります。

さらに、nipnipの後半のnipを消し、最初のnipを語末に置いた音声を日本語話者に聞かせるとき、語末にあるにもかかわらず知覚率は格段に落ちて二七%になります。一方、前の音節を消しても促音知覚率は六四%とそれほど落ちません。ということは、語末だから日本人が促音を知覚するというのではなく、英語の音声自体に主な原因があることがわかります。

次に英語側の原因が何かを探るために、音声波形を見てみました。図14は「nik」という単語をアメリカ人女性が発音した波形で、母音[i]と[k]のあいだに見事な空間があります。これが、日本人が促音を知覚する「間」の時間帯で、この「間」が促音知覚を引き起こしている

刺激音	促音知覚率
nip	86%
nipnip	38%
nipnip	83%
nipnip	27%
nipnip	64%

⇒ 単に位置の問題ではない。  
英語の音声に主な原因がある。

図13 促音知覚率

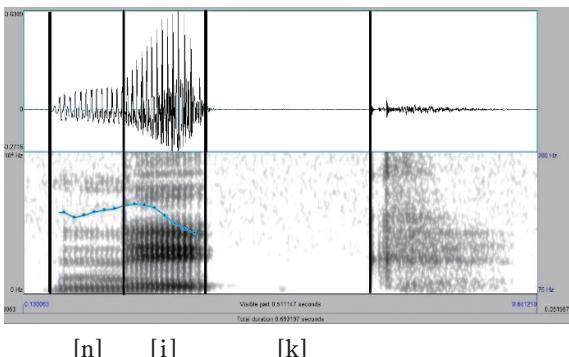
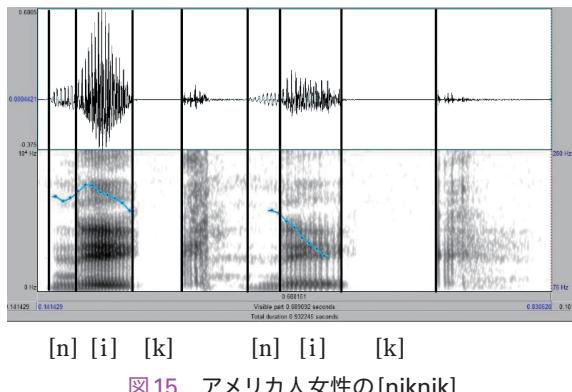


図14 アメリカ人女性の[nik]

ると思われます。次に二音節語「niknik」では、最初の [n] と二つ目の [k] では、明らかに二つ目の [k] の方が「間」が長くなっています（図15）。英語は前の方にストレスがあるために前の方が長いと思われがちですが、実際にには後ろが長くなっています。

もう一つ注意しなければならないのが、音の高さ（ピッチ）です。一音節語では [n] のところでピッチがぐっと下がります（図14）。二音節語だと、図15のように、前の音節も後ろの音節も [n] も下がっているように見えますが、日本人の耳にはこの部分はそれほど下がっているようには聞こえず、後ろの方が大きく下がっているように聞こえます。

このように、促音の知覚に、時間的な長さとピッチ下降が関係していることが窺えます（図16）。二音節語の場合、英語では語末音節の方が大きなピッチの下降を伴っているので、それに日本人が反応し、さらに、子音自体の長さ（閉鎖区間）でも語末音節が語中音節よりも長いため、それにも日本人が反応していることが予想できます。



- ピッチ（音の高さ）：語末音節の方が大きなピッチの下降を伴う
- 長さ：[p, t, k] は語末音節が語中音節よりも（閉鎖区間が）長い

図16 仮説

- 背景(1)：母音の長短の知覚にピッチが影響  
長母音知覚率：下降調 > 平板調  
佐渡 vs. サニド cf. Kinoshita et al. (2002)
- 背景(2)：下降調は平板調より物理的に短い  
(東京方言、鹿児島方言、北京官話)
- 背景(3)：日本語アクセントはピッチ下降が重要
- 予想：母音の長短と子音の長短の知覚方法が同じであれば、下降調の方が平板調より促音知覚率が高くなる

図17 ピッチの影響

これらの仮説をもう少し客観的に検証してみました。ピッチの影響についてはその仮説をサポートする証拠がいくつかあります（図17）。

## ピッチの影響

たとえば、母音の長さが違う「佐渡」と「サード」のペアでは、普通「佐渡」の「さ」が高く発音され、ピッチは下降しませんが、その部分の長さを変えないまま、わざと「さ」の中でピッチを下げるとき、日本人はそこに長母音を知覚しやすくなるという報告があります。

また、ピッチが下がる場合と下がらない場合を機械で物理的に測定すると、東京方言でも鹿児島方言でも、ピッチが下がるタイプの語が下がらない語よりも明らかに短くなります。中国語（北京官話）の声調でも同じ結果が報告されています。ということは、同じ長さの語や音であれば、下降調で発音される方が平板調で発音される場合より長く感じられる——促音が知覚されやすくなる——ことになります。

■ ピッチを平らにした刺激

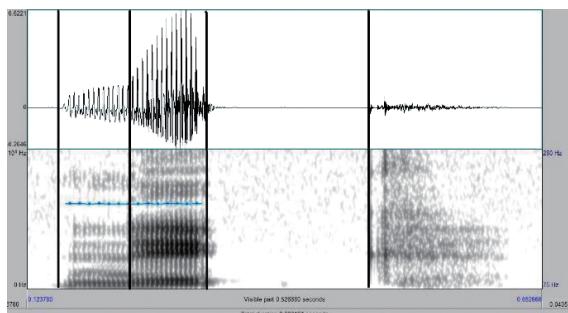
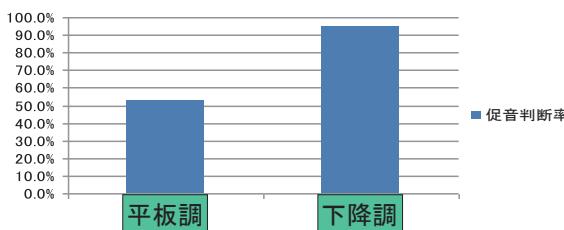


図18 仮説の検証(ピッチ)

促音判断率(1音節; level vs. falling)



⇒ 下降を伴うと促音知覚率が上がる。

図19 結果(ピッチの影響)

促音判断率(1音節; level vs. falling)

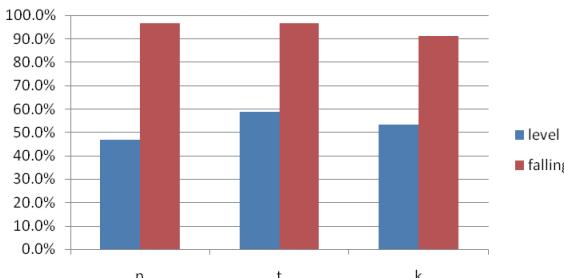


図20 結果(ピッチの影響)2

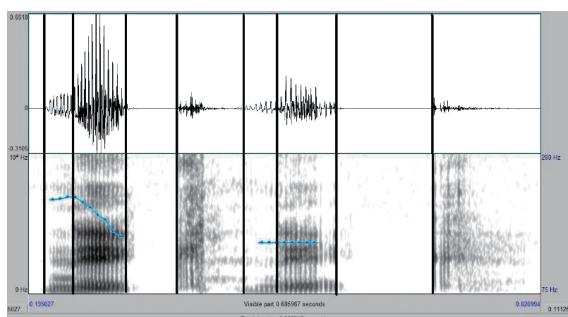


図21 ピッチを加工した[niknik]

さらに、日本語には「雨」とか「鉛」のようなアクセントの特徴があり、音が下がるかどうか、特に音がどこで下がるかで意味が決まります。いろいろな実験によつて、日本語話者は音の下がり目に敏感であること分かっていますから、ピッチが下がるかどうかによつて子音の長さ、つまり促音の有無に影響があつてもおかしくないわけです。そこで、さきほどの「nik」(図14)を使って、ピッチが下がっている部分をわざと下げないで平らになるようにコンピュータで編集してみました(図18)。ここで、長さを変えていないことが重要なポイントです。長さを変えず、ピッチだけ変えて日本人に聞かせたところ、ピッチを下げた場合はほぼ100%促音が聞こえましたが、ピッチが平坦

な刺激を聞くと、五割ほどしか促音を知覚しないという結果になりました(図19)。これは、pの場合、tの場合、kの場合、すべて一緒に促音が下がる場合は促音がほぼ100%聞こえますが、平坦なピッチにすると五割前後の促音知覚率になります。二音節の単語についても同じようなことが言えます。ピッチのパターンを逆にして、二音節目ではなく一音節目のnikに下降が生じるような音声を作つて聞かせると(図21)、元のniknikの第一音節では三八%しか促音を知覚しなかつたのに対し、編集した音声では同じ音節に六七%くらい促音を感じる、つまりほぼ倍の促音知覚率になることがわかりました(図22)。語末でなくともピッチの下降が伴うと、日

## 子音の長さ

本語話者は、促音があると聞こえてくるわけです。

では、子音の長さはどうでしょうか（図23）。この実験では、一四名の英語母語話者（イギリス人二名、アメリカ人一二名）に英語の二音節語（無意味語）を何回も繰り返し発音してもらいました。その発音を録音して子音の長さを測るという実験です。図24は、アメリカ人のデータです。nitnitという単語で、最初のtに比べて、語末のtはやはり非常に長く、閉鎖時間（「間」）が長くなっています。ここには明らかに

有意差があります。語末のtに前の母音の長さを加えて検定してみても、明らかに一音節目と二音節目では長さが違っています。単語を変えてsipsipにしても、語頭のpの無音の時間と語末のpの無音の時間には明らかな差があることがわかります。

イギリス人でもまったく同じ結果が得られました（図25）。アクセントは前の方に置かれていますが、それにもかかわらず明らかに語末のkの方が長く、語頭のkとの間に有意差があるという結果が出ています。

刺激音	促音知覚率	
	第1音節	第2音節
niknik（原）	38%	83%
niknik（加工）	67%	70%

⇒ 非語末位置でも下降を伴うと促音知覚率が上がる

図22 知覚実験の結果

音響実験	
a.	[nɪpnɪp], [nɪtnɪt], [nɪknɪk]
b.	[sɪpsɪp], [sɪtsɪt], [sɪksɪk]
c.	[næpnəp], [nætnət], [næknək]
d.	[sæpsəp], [sætsət], [sæksək]
12語×14名の英語母語話者（英2+米12） ×11回繰り返し	

図23 仮説の検証（子音の長さ）

Test word	parameter	Mean	SD	F	P
[nɪtnɪt]	C <sub>2</sub> closure	94.2	20.1	28.821	< 0.001
	C <sub>4</sub> closure	147.3	22.2		
	V <sub>1</sub> +C <sub>2</sub>	223.0	13.4	32.245	< 0.001
	V <sub>2</sub> +C <sub>4</sub>	271.4	21.0		
[sɪpsɪp]	C <sub>2</sub> closure	89.8	13.6	43.289	< 0.001
	C <sub>4</sub> closure	142.5	20.4		
	V <sub>1</sub> +C <sub>2</sub>	187.7	13.7	214.98	< 0.001
	V <sub>2</sub> +C <sub>4</sub>	254.8	11.4		

図24 結果（アメリカ人）

Test word	parameter	Mean	SD	F	P
[nɪknɪk]	C <sub>2</sub> closure	66.5	7.9	96.891	< 0.001
	C <sub>4</sub> closure	128.3	14.4		
	V <sub>1</sub> +C <sub>2</sub>	145.7	8.3	185.797	< 0.001
	V <sub>2</sub> +C <sub>4</sub>	222.7	13.7		
[sæksək]	C <sub>2</sub> closure	105.4	11.3	9.243	< 0.05
	C <sub>4</sub> closure	117.3	9.1		
	V <sub>1</sub> +C <sub>2</sub>	196.5	16.3	17.961	< 0.01
	V <sub>2</sub> +C <sub>4</sub>	222.7	9.2		

図25 結果（イギリス人）

## まとめ

- 無意味語を使った知覚実験では、実際の外来語と同じ「位置効果」が観察される。  
[nik] vs. [niknik]
- 2音節語 (niknik) の後半を消して1音節語にすると促音は聞こえにくい。「位置効果」は見かけ上のもので、英語の音声の中に促音知覚を決める特徴が含まれている。  
[nip] vs. [nipnip]

図26 まとめ(位置効果の要因)

- ピッチ(高さ)を下降調から平板調にすると促音知覚率は格段に下がる。  
→ピッチの下降が促音知覚に影響する
- 英語の2音節では、第1音節より第2音節の方が、子音(閉鎖区間)の長さが優位に長い。  
→子音の長さも促音知覚を左右する

図27 まとめ(続)

1. capキャップ—cabキャブ, lock—log, rack—lag
  2. pick—peak, mitt—meat, mid—mead
  3. tot—toss, tup—tough, tap—taff
  4. kiss—cash, cough—Gogh, puff—Bach
  5. max—mask, tax—task, lax—rask
  6. eap—captain, fax—faesimile, sax—saxophone
  7. happy—happiness
  8. less—lesson, lis—listen—listener, listening
  9. tough—stuff, staff, log—flog, tub/tab—stab
  10. kitchen—chicken
- なぜか？日本語の構造か？英語に原因ありか？

図28 今後の課題：他の条件

これらの結果をまとめると次のようになります(図26・27)。まず無意味語を使った知覚実験では、実際の外来語と同じ「位置効果」が観察されました。そこで、この効果がどこから出てきたのかを調べるために、二音節語 (niknik) の後半を消して一音節語の刺激語として提示したところ、促音は知覚されにくくなることがわかりました。これにより、「位置効果」は見かけ上のもので、英語の音声の中に促音知覚を決める特徴が含まれていることがわかります。

次に、その原因として考えられる要因を二つ考えてみました。一つ

は音の高さ(ピッチ)です。日本人は、音のピッチが下がることに非常に敏感に反応しますが、英語の単語ではその下がり目が語末にあることを確認しました。これに加え、そもそもniknik, picnicといった二音節語では、一音節目と二音節目で子音の閉鎖区間の長さが有意に違います。このような子音の長さも日本人の促音知覚に影響を及ぼしていることがわかりました。

ただ促音の問題は非常に複雑で、外来語の促音だけとつてみてもいろいろな謎があります(図28)。今日お話ししたのはその中の一つですが、その一つの謎を解くのに二年ほどかかりました。このほかにも、私の定年までに解決できないくらいの数の謎があります。たとえば、

前述の「kitchen（キッチン）」と「chicken（チキン）」はどうして違いかが出てくるのか。このような謎を一つずつ解き明かしていく必要があります。文字ではなく音声の影響だとしたら、日本語に原因があるのか、英語に原因があるのか。一つずつ調べていく必要があります。

さらに、原因が明らかになつた場合、その原因が日本語だけの問題なのか、それとも他の言語にも見られる一般的なものなのかという疑問も生じます。たとえば、日本語に原因があるとすれば、その要因が日本語だけに見られるのか、あるいはイタリア語やフィンランド語の外来語にも見られるのかを検討してみる必要があります。

今日お話しした外来語の促音の研究は、外来語の研究の中でもいろいろなところに応用できます。今日は、英語から日本語に入ってきた外来語と、イタリア語から日本語に入ってきた語について主にお話し

しました。促音にあたる特徴を持つ言語はもっとたくさんあります。フィンランド語から日本語に入つてきたらどうなるのか。韓国語にも日本語の促音に似た濃音という音がありますが、その二言語間ではどうなるか。たとえば日本語から韓国語に入つた外来語や日本語を聞いた韓国語話者はどうなるのか。逆に韓国語から日本語に入つた語や、韓国語を日本人が知覚する場合にはどうなるのか。さらに、英語からフィンランド語に入った単語や、英語からイタリア語に入った単語ではどうなるか。このように研究の対象をかぎりなく増やすことができます（図29）。

このような研究を今後も続けていきたいと考えていますが、ここにいらっしゃる皆さんも、このような疑問・謎に関心をお持ちであれば、ぜひ仲間に入つて一緒に探求していただければと願っております。

#### ▪ 借用語音韻論の詳細

- ・ 英語 ⇒ 日本語
- ・ イタリア語 ⇒ 日本語
- ・ フィンランド語 ⇒ 日本語
- ・ 韓国語 ⇄ 日本語
- ・ 英語 ⇒ フィンランド語
- ・ 英語 ⇒ イタリア語

図29 今後の課題（続）



# 〈ソトから見た日本語の特質と普遍性〉

## 言語の普遍性と多様性 ～自動詞・他動詞の対応にみられる普遍的傾向～

言語対照研究系教授

プラシャント・パルデシ  
Prashant PARDESHI

### はじめに

今日は、インドで数千人のマニアが学習している日本語の東京方言でお話します。発音のおかしいところがありましたらご容赦ください。

窪薙先生から名字の説明がありましたが、私の名字もインドで非常に珍しく、パルデシは姓、プラシャントは名です。パルデシとは、外国人という意味ですので、インドで「パルデシさん」というと「外国人さん」となるので、みんなにプラシャントと呼んでとお願いしています。プラシャントは「太平」、静かな人という意味ですが、私は静かではありません。

窪薙先生から促音の話がありました。私の母語であるマラーティー語には促音があります。隣のヒンディー語と同じです。また、木部先生から、「私たち」という単語が、相手を含むか含まないかという話がありました。マラーティー語でも別々の二つの語彙を用意していました。しかし、隣のヒンディー語は、古代インドのサンスクリット語から生まれた姉妹言語ですが、その区別はありません。南インドのドラヴィダ系の言語には区別があります。

今日は、まず言語現象について詳細に説明し、その後、なぜ当該

現象はそうなっているかを説明します。私のやつている研究は、言語の普遍性と多様性を記述・説明するこ

とです。なるべく多くの言語で、同じ現象を、同じ方法論で調べ、そこにどんな類似点があるか、どんな違いがあるかをお話し、そのあと、それを地図上に表示していきます。ヒンディー語の「私たち」には、相手を含むか含まないかという違いはありませんが、その隣にあるマラーティー語にその区別があります。

マラーティー語の隣にあるドラヴィダ系の言語にも同

### プラシャント・パルデシ (Prashant PARDESHI)



言語対照研究系教授。インド・プネー市生まれ。博士(学術)(神戸大学)。インドで日本語教師をしていた時、学生からの質問にうまく答えることができず、言語の仕組みを客観的に分析・理解する必要性を感じ、日本への留学を決意し、言語学の世界に足を踏み入れました。母語のマラーティー語と日本語の対照研究から始まった研究は、その後興味の対象が拡大するにつれいつの間にかアジア諸語の対照研究に発展してきました。言語そのものおよび言語と文化のより深い理解を目指して、さまざまな言語を学ぶことにも力を入れています。専門は言語類型論、対照言語学。主な著書は『自動詞・他動詞の対照(シリーズ言語対照<外から見る日本語>第四巻)』(共著: 西光義弘、くろしお出版、2010年)、『言語のタイプロジー認知類型論のアプローチ(講座: 認知言語学のフロンティア 第五巻)』(講座: 認知言語学のフロンティア) (共著: 堀江薰、研究社、2009年)など。

様の区別があります。地図上でこの分布を描くことによつてドライ

ダ系の言語からマラーティー語にこの現象が借用された可能性を可視化することができます。今日の話のキーワードは「地図」です。

まず、日本語の自他動詞の形がどうなっているか、長さはどうか。長さと複雑さは同じ意味で使っているので、発音の長さでいきます。そのあと世界の言語を同じ手法で自他動詞の形・長さ・複雑さを調べて日本語と比べた場合、どんな類似点を観察でき、どんな違いを発見できるのかという話をします。次に、なぜそのような違いがでてくるのか、類似点があるのかを説明します。そして最後に、日本語の多義的自他動詞について、われわれ学習者はどう学ぶかについて考えたいと思います。

# 第一部 日本語の自他動詞の形・長さ・複雑さ

日本語を母語とする人にはまったく問題ないわけですが、「ドアが開いた」「ドアを開けた」で、自動詞は「開いた」、他動詞は「開けた」です。「バットが折れた」「バットを折った」「折れる」と「折る」「開く」と「開ける」、自動詞と他動詞は形のうえで違っています。でも、英語では、自動詞も他動詞も「open」「break」です。日本語と英語だけを比べると、極端に違いが見えます。二つの言語どれを見ても違うのは当たり前です。しかし、その表面的な違いを見るのではなく、もつとたくさん言語を調べていくと、いろいろな言語はグループごとに分けることができ、そのグループ間に連続性があるようなことがあります。

このようなことは、言語学的に大変関心があります。さきほど津蘭先生の話にあつたように、これは偶然ですみたいなことをいうと、科学にはなりません。しかし、たくさんの言語を調べてみると、きちんととした理由が見えてきます。言語学者の作業は、そのような背後にあらわされる原理、理由を究明することです。それがわれわれの仕事です。たくさんの言語を比べる必要があります。さきほどの日本語の自他動詞に見られるような形・長さ・複雑さの問題を少し専門的にいうと、

な場合に、自動詞のほうが短く、他動詞のほうが長くなるのでしようか。逆に、どんな場合は、他動詞のほうが短く、自動詞のほうが長くなるのでしょうか。

日本語の自他動詞の形です。図1で、自動詞と他動詞を示していますが、ローマ字表記をすると、他動詞の「乾かす (kawak-as-u)」「ほうが自動詞の「乾く (kawak-u)」より長く、「凍る (koor-u)」「凍らす (koor-as-u)」も他動詞のほうが長くなっています。逆のパターンもあります。

◆ 日本語の自他動詞の形・長さ・複雑さ：非対称性

自動詞	他動詞
乾く kawak-u	< 乾かす kawak-as-u
凍る koor-u	< 凍らす koor-as-u

→他動詞のほうが自動詞より長い・複雑

壊れる kow-are-ru	> 壊す kow-as-u
裂・割ける sak-e-ru	> 裂・割く sak-u

→自動詞のほうが他動詞より長い・複雑

図1 日本語の自他動詞の形

「非対称性」です。自動詞と他動詞のあいだに非対称性が見られます。

ある場合は他動詞のほうが長く、ある場合は他動詞のほうが短い。どうしてだろうか、というのが疑問点です。

その謎を解き明かすために、世界の言語の自他動詞を調べて、比較する試みをやつております。

## 第一部 世界の言語の自他動詞の形・長さ・複雑さ

前川先生から紹介があつた、現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)で検索をかけて動詞だけを抽出して、その動詞のなかで変動詞を全部捨て、和語動詞だけを残します。その和語の動詞に、対になるものがあるかどうか調べます。たとえば、「開く」「開ける」「割く」「割ける」「凍る」「凍らす」のように、みごとに対をなしている動詞がいつぱいでできます。しかし、英語では自動詞も他動詞も形は同じになつているかと思います。

現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)ですべて検索して日本語にどれくらいの対があるかといふと、五四〇以上あります。これらの自他動詞をどのように覚えるか、使い分けるかは英語や中国語を母語とす

る学習者にとつて大変難しい問題です。

世界のたくさんの言語を調べるために、調べる範囲を狭めないといけないので、調査規模の大きな研究をやるときは、図2に示す三一の動詞対を定めています。この三一对を選ぶには理由があります。特に自動詞と他動詞の対がでてきやすいような意味をもつ動詞対をいろいろな言語で調べ、もし違ひがでてきたら、その違ひはなぜでてくるのかを考えることになります。

Haspelmathは、三一の動詞対を二一言語で調べ、そのデータを分析した研究論文を一九九三年に発表しています。研究を進めるうえで、収集したデータを分類しなければならないのですが、分類の基準をどうするかが重要な課題です。図3は派生型による五分類を示しています。専門的な名前はさておき、他動詞より自動詞のほうが長い、日本語の「裂ける」「裂く」は「A」の「反使役化型」といいます。また、「開く」「開ける」は自動詞より他動詞のほうが長いものは、「使役化型」であるので「C」で表します。それ以外の三分類には方向がありません。たとえば、日本語の「開(ひら)く」「開(ひら)」は同じ單語で、「死ぬ」「殺す」はまったく違う单語で

1. 起きる:起こす wake up/wake up	9. 集まる:集める	17. 繋がる:繋ぐ、繋げる connect (intr.)/(tr.)	25. 凍る:凍らせる freeze (intr.)/(tr.)
2. 折れる・割れる:折る・割る break/break	10. 広がる:広げる spread (intr.)/(tr.)	18. 沸く:沸かす boil (intr.)/(tr.)	26. 溶ける:溶かす dissolve (intr.)/(tr.)
3. 焼ける:焼く burn/burn	11. 沈む:沈める sink (intr.)/(tr.)	19. 摆れる:揺らす rock (intr.)/(tr.)	27. 満ちる:満たす fill (intr.)/(tr.)
4. 死ぬ:殺す die/kill	12. 変わる:変える change (intr.)/(tr.)	20. 消える:消す go out/put out	28. 直る:直す improve (intr.)/(tr.)
5. 開く:開ける:開く:開く open/open	13. 溶ける:溶かす melt (intr.)/(tr.)	21. 上がる:上げる rise/raise	29. 乾く:乾かす dry (intr.)/(tr.)
6. 閉じる:閉ざす:閉まる:閉める close/close	14. 壊れる:壊す be destroyed/destroy	22. 終わる:終える finish (intr.)/(tr.)	30. 裂ける:裂く split (intr.)/(tr.)
7. 始まる:始める begin/begin	15. なくなる:なくす get lost/lose	23. 回る:回す turn (intr.)/(tr.)	31. 止まる:止める stop (intr.)/(tr.)
8. 教わる:教える learn/teach	16. 発達する:発達させる develop (intr.)/(tr.)	24. 転がる:転がす roll (intr.)/(tr.)	

Haspelmath(1993: 97)が調査した31の動詞対

図2 世界の言語の自他動詞の調査票

す。「死ぬ」から「殺す」が派生するのか、「殺す」から「死ぬ」が派生するのか、言語形式が異なるため判断できません。

日本語でもっと面白いのは、「始まる」「始める」です。語幹「hajim-」が同じで、それに「-a-ru」「-e-ru」がついて、どちらが派生元だかが派生先かを決めるのは大変難しいもので、これを「E」タイプと呼んでいます。

## 第三部 自他動詞の形・長さ・複雑さから見えてくる言語の普遍性と多様性

実際にわれわれの共同研究プロジェクトで約六〇言語を調べ、分析し、データベースを構築しました(The World Atlas of Transitivity Pairs (WATP)、使役交替言語地図)。そのデータベースは、URL: <http://wratp.ninjal.ac.jp>で無料公開しています。自分の家のパソコンでアクセスすることができます。データもすべてダウンロードできます。

このデータベースを使うと、なにが見えてしまうか。たとえば、「沸く」「沸かす」という動詞を、世界の六〇言語でどうなっているかを調べてみました。**図4**の円グラフにあるように、八一%の言語で日本語と同じように「沸く」が短く、「沸かす」が長くなっていることを確認できます。日本語だけではなく、周りのいろいろな言語で、同じようなパターンが見られます。しかし、日本のなかでも、逆の派生をしている言語があります。それは北秋田方言です。これについては後ほど触れます。

また、「裂く」「裂ける」「割る」「割れる」のような動詞を調べると、

日本語でも日本国内で話されている方言でも、他動詞のほうが短く、自動詞のほうが長い。このパターンは、世界のほかの言語でも見られます。インドの言語では、みんな逆のパターンになっています。そして、類似した派生のパターンを示す言語は、ある特定の地域にかたまっていることが見えてきます。**図5**は、六〇言語のデータから見えてくるパターンを可視化したものです。

**図5**の三一对のデータから面白いことが見えてきます。**図6**の一番から一二番の動詞と、三〇番から逆に二四番の動詞を見ると、前者は自動詞のほうが短く、使役型「C」のパターンが非常に多くなっています。後者は、その逆のパターン、つまり、他動詞のほうが短いパターンが見られます。ただし、真ん中の一二三番目の動詞対では、いろいろ逆転が起こりながら、これはプロトタイプ的な効果といいます。典型的な鳥とそうでない鳥。

派生の方向の有無	派生型	形式的な関係
方向あり	A (Anti-causative)	自動詞(有標)←他動詞(無標) <b>自動詞</b> →他動詞 自動化・反使役化型(焼ける←焼く)
	C (Causative)	自動詞(無標)→他動詞(有標) <b>自動詞</b> <他動詞 他動化・使役化型(開く→開ける)
方向なし	E (Equipollent)	両方が有標(共通の語幹、標識がそれぞれ異なる) 両極型(直る:直す)
	L (Labile)	同じ語根が自動詞と他動詞として使える 自他同形型(開く:開く) <b>自動詞</b> =他動詞 異なる語根
	S (Suppletive)	補充型(死ぬ:殺す) <b>自動詞</b> ≠他動詞 以上のいずれにも該当しない (主に無対)
	O (Others)	

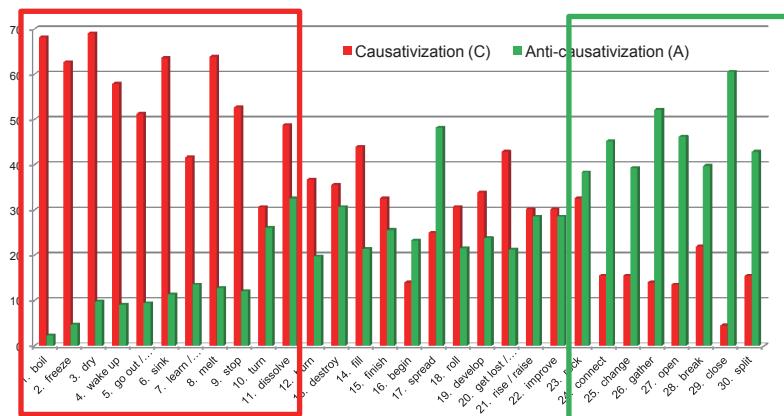
図3 世界の言語の自他動詞の形・長さ・複雑さを分類する基準



図4 個別の動詞対の派生型の選好の傾向：「沸く < 沸かす」



図5 個別の動詞対の派生型の選好の傾向：「割れる、裂ける > 割る、裂く」



自動詞<他動詞 (例: 沸く < 沸かす)

自動詞>他動詞 (例: 裂ける > 裂く)

図6 プロトタイプ効果

典型的な鳥というと、日本ではスズメなどでしょうかが、ペンギンやダチョウも鳥は鳥ですが、典型的な鳥ではありません。ですから、一番から一二番あたりの動詞対は典型的な逆使役型で二三番目あたりから三〇番目あたりの動詞対は典型的な逆使役型で、その中間のものはダチョウやペンギンみたいな非典型的なもので、世界規模で言語を見ていくと、上記のような言語間の類似点や相違点が見えてきます。

「死ぬ」「殺す」は、世界の六二%の言語で、それぞれの形式が異なる単語を用いています（図7）。殺したら罪で訴えることができますが、死んだら自然死ですので相手を訴えることはできません。重大な意味の違いがあるわけで、多くの言語は別々の単語を用意していることがこのグラフから見てとれます。

## 個別言語の派生型の選好

さきほどまでは、一つの動詞「沸く」「沸かす」をピックアップして、六〇言語のデータにおいて、他動詞のほうが長いパターンと自動詞のほうが長いパターンのうち、どの言語がどのパターンを示すのか、またどのパターンが優勢かを地図上の円グラフで確認しましたが、三一の動詞対を同時に全部見たい。この場合は「Chart（チャート）」というボタンを利用します。この「チャート」ボタンを押すと、図3で説明した五つのパターンのうち各言語に関して、それぞれのパターンの分布を確認することができます（図8）。図8では自動詞から他動詞を派生するパターン（赤で表示）が優勢である言語を順位で並べてあります。これ

は『slopegraph』といふのです（図10）。左はHaspelmathの二一言語ネットワーク語、アイヌ語、モンゴル語、スインディー語などアジア諸語が上位を占めることが見えてきます。逆に、他動詞から自動詞を派生するパターン（緑で表示）が優勢である言語を降順で並べ替えると、ルーマニア語、スウェーデン語などヨーロッパの言語が上位を占めることが見えてきます（図9）。英語のように自動詞と他動詞が同形である「L」を押してみると、バスク語、英語、北京語、タイ語が上位に浮上します。このように、自動詞と他動詞の形式的な関係のパターンを基準にデータを簡単に並べ替えることができ、それによって複数の観点から同じデータを可視化すると、視覚的に確認することができます。

今日初めて披露しますが、Haspelmathは二一言語でこのようになると調べましたが、われわれは六〇言語で調べてみました。両方とも同じ実験をやっているので、Haspelmathの仮説が正しいのであれば、同じ結果がでてくるはずです。これは人文系ではありませんが、再現可能性を自分の眼で確認できるようなものをつくりました。これ

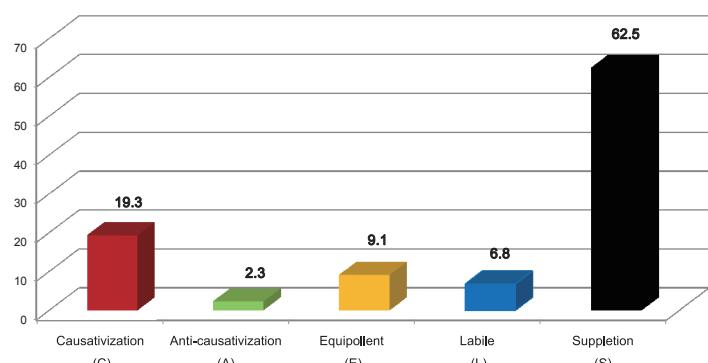


図7 諸言語における「死ぬ」と「殺す」の形式的な関係

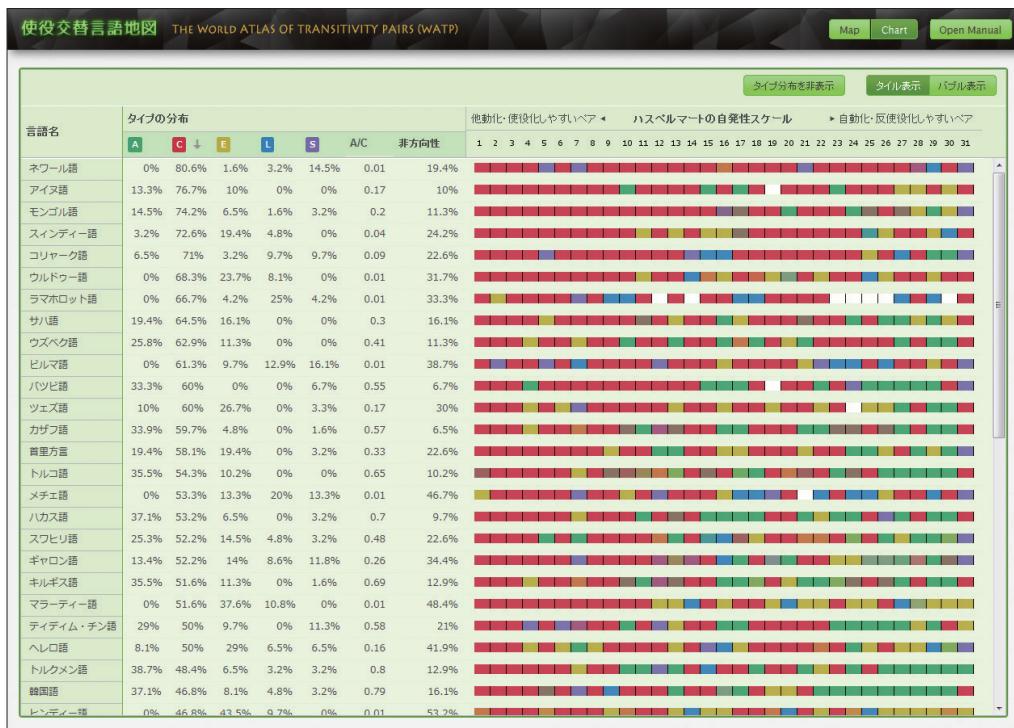


図8 個別言語の派生型の選好：使役型

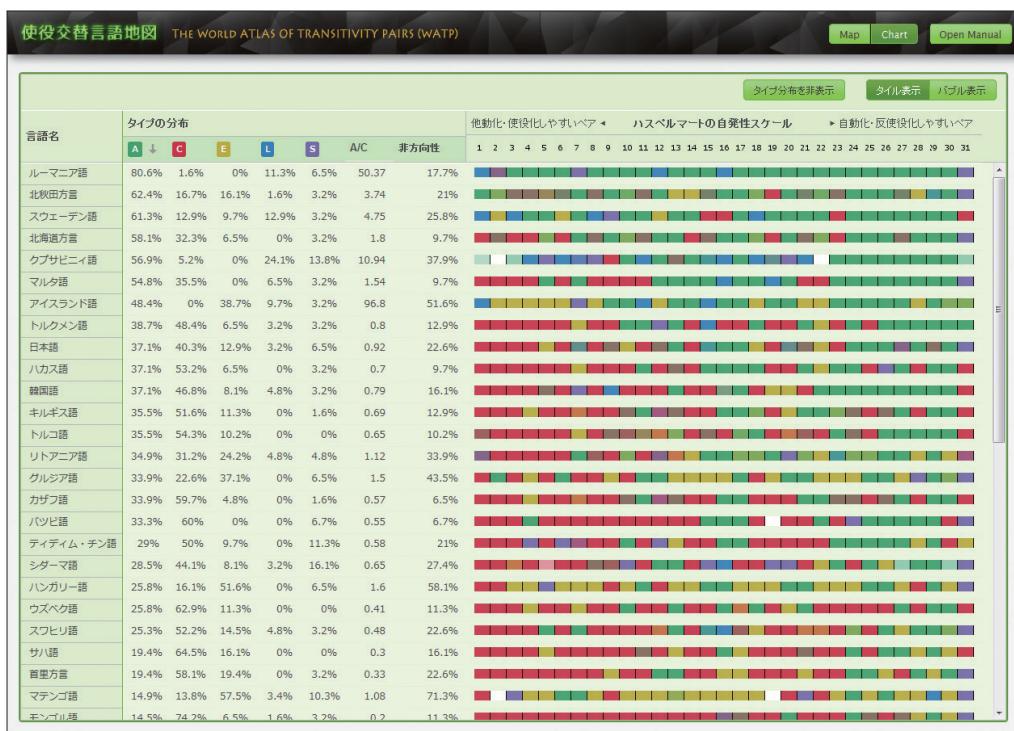


図9 個別言語の派生型の選好：反使役型

のデータ、右はわれわれが集めた六〇言語のデータです。この図からも見てとれますように、上のほうは順位の変更はありません。下のほうもわりと安定しています。ところが、真ん中のほうが順位が相当入れ替わることが確認できます。データベース化すると、普段は見えないよう、順位の変動を眼で確認することができます。『slopegraph』はまだ公開していませんが、あと一ヶ月後程度で公開します。

もう一つ、まだ公開していませんが、面白い機能があります。任意の二つの言語を選んで、それを比べてみます。日本語で、北秋田方言と首里方言を選びました。一方は北日本、もう一方は南日本。どんな違いがあるか、眼で確認することができます（図11）。左が首里方言、右が北秋田方言です。首里方言はほとんど「C」で、自動詞から他動詞が派生しています。北秋田方言にはAが多数でできます。北と南でまたたく違います。南のほうでは南アジアと同じように自動詞から他動詞が派生し、北のほうと違うことが、二つの言語を隣どうしに置いてみて初めてわかります。この機能もあと少しで公開しようと思っています。

これまで、ある言語現象を、ある特定の言語で、同じような方法でたくさんのデータを集め、データベース化して比べ、地図のうえで見せ、こういう現象がありますと記述してきましたし、可視化してきました。しかしなぜ、ある特定の動詞で、自動詞のほうが短く、他動詞のほうが長いのか。逆に、ある特定の動詞は、なぜ自動詞のほうが長く、他動詞のほうが短いのかを説明しなければいけない。説明があつて初めて、あくなるほど、とわかるわけです。

このことについて優れた研究をしたのは、なんと、日本語を研究し



図10 新機能：slopegraph

ID	Haspelmath (1993) Pair	Shuri Dialect			Kita Akita Dialect		
		Non-causative	Causative	Type	Non-causative	Causative	Type
1	boil	wak-	wakae-	C	waga(s)-aea-i-u	waga-e-u	A
2	freeze	kuhwa-	kuhwaras-	C	koor-as-aru	koor-a(g)a-s-u	E
					kooras-aru	koor-ah-e-ru	A
3	dry	kaarak-	kaarakas-	C	kawag-ru	kawag-as-u	C
					kawag-as-ir-u	kawag-as-u	A
4	wake up	?uki-	?ukus-	C	ogi-ru	ogos-u	C
					ogi-hasar-u	ogos-u	A
5	go out/put out	caa-	caas-	C	de-ru	das-u	C
					das-asar-u	das-u	A
6	sink	sizim-	sizimi-	C	sizim-ru	sizim-e-ru	C
					sizime-rasar-u	sizime-ru	A
7	learn/teach	nara-	naraas-	C	osowar-u	ohe-ru	A
8	melt	tuki-	tukas-	C	toge-ru	toga-s-u	C
					toga-asar-u	toga-s-u	A
9	stop	tuma-	tumi-	E	tom-aru	tom-e-ru	A
					tom-e-rasar-u	tom-e-ru	A
10	turn	maa-	maza-	C	maw-aru	maw-as-u	E
		migu-	miguras-	C	maw-as-arasat-u	maw-as-u	A
11	dissolve	tuki-	tukas-	C	maw-as-asar-u	maw-as-u	A
					toga-ru	toga-s-u	C
					toga-asar-u	toga-s-u	A

図11 新機能：comparison(二言語比較)

ている日本生まれで日本語が非常に達者なアメリカ人のJacobsen先生です。Jacobsen先生は、以前私どもの研究所に客員研究員でおられたことがあります。この先生の説明では、「特定の変化を外的な力の有無と結びつけることが普通である。その結びつきは世界の経験、つまりその変化の最も典型的な起こり方に基づいている。ある種の変化は、通常、自発的に起きていると認識される……それに対しても、ある種の変化は、通常、外的な力によつてもたらされていると認識される……」ことがあります。

この先生は、英語のネイティブスピーカーで、日本語もほぼネイティブスピーカーで、両方の言語が非常によくわかっているため、このような研究ができるのだと思います。

ただ、「裂く」「裂ける」だと、道具を持って、なにかを「裂く」ことが基本です。物事が勝手に「裂く」ことはありません。ですから、なぜ「裂く」が短いのか。われわれが理解している道具を持って、なにかを「裂く」のが典型的ですので、その場合は他動詞が基本です。自動詞は派生されます。しかし、「沸く」「沸かす」はその逆です。自然界でも、日本は温泉がたくさんあるので、水が沸いたり、人間が火を焚いて沸かしたり。「火を焚いて沸かす」という

のは複雑な意味ですので、言語のうえでも複雑になっています。これはアイコニック（類像的）な説明といいます。つまり、概念的に複雑なものは形のうえでも複雑に表します。概念的に単純なものは、形のうえでも短く表す。こういう概念と言語形式の単純さ・複雑さのあいだに写像関係があるのでないか。Jacobsen先生は説明しています。

変化は、通常、外的な力によつてもたらされていると認識される……有標性理論は、経験における通常性が言語的通常性に反映される」と、つまりよりシンプルな形式がより複雑な形式に比べて通常（無標）であることを予測する」と。



この先生の研究から示唆を得て、さきほどの Haspelmath は、言語の数を増やしているわけです。ですから、日本語の研究が出発点となつて、世界の言語に大きく貢献している非常に面白い現象の一つだと思います。

所長から、ソトから見る日本語、ウチから見る日本語という話がありました。日本語からソトの言語を見ると、このような知見で世界の言語が分析できるとう素晴らしい研究が日本語から始まつたといえると思います。専門的に、これは diagrammatic iconicity と呼ばれていますが、専門的な話はそこまでにします。

## 第四部 日本語の多義的自他動詞を学ぶ

私は日本語学習者で、過去三五年間、日本語を学んでいますけれど、一向に上達しません。なんでだろうかと思っています。私みたいに悩んでいる学習者が世界中にいます。

発表するときについつもあがつてしまします。この「あがつてしま」の意味は、アドバンスな日本語です。「温度が上がる」のは、誰でも理解できます。発表するとき、「みんなの前であがつてしま」というのは、どの教科書でも教えているわけではありません。学習者がこれをどう勉強すればいいか、世界中の日本語学習者の大きな悩みのタネです。市販のどの国語辞書で「あがる」を調べてみても、ほとんどの辞書は日本人のためにつくっているものです。私が日本語の勉強を始めた

とき、国語辞書を使って調べました。大変な作業でした。一行読んでも、何時間かけても読めない漢字がでてきて、それを漢和辞典を調べ、そこからこれは「湯桶読み」なのか「重箱読み」なのか、大変な問題がありました。まあ、マニアはそんなことを楽しくやりますので、長く勉強を続けることができるわけです。私みたいに、マニアでないと途中で挫折します。

教科書にでてこない、インドにいて周りで日本語が話されていない、ネイティブの先生がいないとき、どうやって勉強するのかという問題があります。基本動詞になればなるほど難しく、たくさんの意味があります。「あげる」という動詞は多義的で、意味はなんと二〇を越えます。

**基本動詞ハンドブック**

ハンドブックで調べる

このハンドブックは

- 特長
- 使用したコーパス およびツール
- 公開版 制作メンバー
- プロトタイプ版 制作メンバー
- プロジェクトの成果
- ご利用にあたって
- 更新履歴
- お問い合わせ

更新情報

2016.5.17	10例出し語を追加しました。（全55例出し）
2015.1.24	例出し語を50例出しに追加しました。（全55例出し）
2015.7.7	例出し語を50例出しに追加しました。（全57例出し）

■「基本動詞ハンドブック」とは

コミュニケーションの基本単位となる文の骨格を決める重要な要素の一つが文語としての動詞です。日常生活よく使用される基本動詞のほとんどが、複数の意味をもつ多義動詞で構成されていますが、このような現象は日本語だけでなく、世界中の言語に広く見られます。

多義動詞には、まず中心となる意味（中心意義あるいは基本義）があり、そこから様々な意味が派生します。例えば、「動詞「上がる」には、「上の方向への物理的な移動」という中心義があります。「窓板に上がる」、「ステージに上がる」という他の「上がる」は、「より高いところに移動する」という中心意義です。この中心意義から「水桶からの移動」「風呂から上がる」などの意味が派生しますが、まだこれらの意味とは、物理的移動を表すという点を中心意義と通じています。しかし、次の範囲になると、もうやや物理的な移動は表されなくなります。例えば、数量の増加（消費税率が上がった）や、レベルの上昇（昇進が上がった）など、物理的な移動は見えられず、「基準よりも高い」という意味（「上昇する」）という点を中心意義とながながになります。さらに、算出するという意味の人間であがる」という表現の背後に、「心が上方に移動すること」は、心の不安定な好ましくない状態になる」という考え方方が存在します。

基本動詞ハンドブックは、日本語学習者・日本語教師が基本動詞の理解を深めることができるように、このような基本動詞の多義的な意味のつながりを図解なども用いてわかりやすく解説したオンラインツールです。また、例文、コケーションなどの載筆には、国語研の「現代日本語書き言葉均一コーパス(BCCWJ)」（約1億語）や渡波ウェブコーパス（約1億語）などの、大規模日本語コーパスを積極的に活用し、他のア�플リケーションには見られない生きた情報を提供しています。

日本語学習者・日本語教師が基本動詞の理解を深めることができるよう、基本動詞の多義的な意味の広がりを図解なども用いて分かりやすく解説したオンラインツール(辞典)

→<http://verbhandbook.ninjal.ac.jp/>

図12 基本動詞ハンドブック

2014年4月～一般公開 セッション数： 21,725 (2016年2月28日現在)  
ページビュー数： 38,176 (2016年2月28日現在)

図13 多義的自他動詞の学習

例文にはすべて音声をつけています。難しい意味は、アニメーションを使って説明しています。緊張して「あがる」は、三コマ漫画で説明し

この意味を全部説明している教科書はありません。イメージとして、なんとか下にあるものを「上げる」という説明のものがほとんどです。そこで、「基本動詞ハンドブック」を、いろいろな苦労をしてつくりました(図12)。このたくさんの中の意味がどうつながっているのか、日本語のネイティブスピーカーは頭のなかでわかつてるので説明は不要ですが、外国人には説明しないといけないので、その説明をこのハンドブックではしています。

ます(図13)。紙の辞書だと印刷が大変なので短くしますが、われわれはインターネット上でやるの、スペースはいくらでもありますので、たくさんの文字数を使って、説明することができます。例文にはすべて音声をつけています。難しい意味は、アニメーションを使って説明しています。緊張して「あがる」は、三コマ漫画で説明し

## 結び

世界諸言語と比較・対照してこそ、日本語が世界の他の言語とどういうところが似ているか(類似点・普遍的)、または、どういうところが異なるか(相違点・個別性・多様性)が見えてきます。理論研究の成果を、教育現場により積極的に還元する必要があると私は思っています。ありがとうございました。

ています。そのようなものをいま無料公開しています。この辞書をつくるために、日本人の正用と外国人の誤用の両方のコーパスを使って、客観的なデータに基づいて例文をつくることをやっております。前川先生から話があつたBCCWJという一億語のコーパスを使っています。日本人の正用を調べるために、たとえば「○○があがる」、その「が」のところの前の名詞はどういう名詞なのかをこれで調べることができます。また、「冷える」と「冷める」はどう違うのかも、このコーパスを使って調べることができます。このようなさまざまなコーパスを使つたうえで見出しを執筆しています。執筆者もたくさんいます。文法的に正しくない文(非文)が普通の辞書にはでてきませんが、われわれの辞書では、正しい文とともに非文も載せていて、それはなぜ正確なのかを説明しています。たとえば「赤ちゃんがあがつてしまつた」とはいえない。なぜかとすると、赤ちゃんにはそういう精神的な能力はない、ということを説明するわけです。なぜできないかも書かなければいけない。それがあつて、初めて学習者は納得して「なるほどね」ということになるわけです。

# 〈ソトとウチの接点としての日本語学習〉 日本人と外国人の日本語「コミュニケーション」 ～学習者の「安全な誤用」と「危険な正用」～

日本語教育研究・情報センター教授

迫田 久美子

## ソトとウチの接点としての日本語学習

現在、日本に住んでいる在留外国人数の推移を法務省が調査しました。日本語を学んでいた人は、日本に「四万人、世界では三九八万人、約四〇〇万人いました。実際に日本に住んでいる外国人の数は、最新の平成二七年度のデータでは、なんと二二七万二八九二人（図1）。一時期少し落ち込みましたが増加を続けています。外国人の方々も一緒に住んで暮らしていく社会が生まれつつあります。私の今日の話の狙いは、ソトとウチの接点としての日本語学習です。日本人と外国人の日本語によるコミュニケーションでは、文法の正確さ以上に、使用的適切さが重要になります。今回、日本語学習者のコーパスを分析し、不適切な日本語使用の背景には、互いの文化の違いが影響している可能性があることがわかつたという研究をご紹介したいと思います。

まず、「安全な誤用」と「危険な正用」について述べ、次に、日本語学習者のコーパスの話をします。そして、コーパスの中のロールプレイに焦点を当て、その中の一部の結果についてみなさんと一緒に考えていただきたいと思います。

## はじめに—安全な誤用・危険な正用—

私は四〇年以上、日本語を教えており、学習者の誤用は、食べることと寝ることの次に、大好きです。学習者たちが一生懸命考え、自分たちのルールでことばを書いたり発したりしますので、その中に彼らの文法が見えてきます



迫田 久美子(さこだ くみこ)

日本語教育研究・情報センター教授。博士(教育学)(広島大学)。「先生、どうして『電話中』というのに『結婚中』と言えないのですか」など、学習者から多くの質問を浴び、日本語の知識の無さに危機感を覚え、日本語教師を辞めて大学院に入りました。若い院生に囲まれて、教える立場から学ぶ立場になって味わった新鮮な驚きは今でも忘れられません。ノーベル賞を受賞した朝永振一郎は「不思議だと思うこと、これが科学の芽です。よく観察して確かめ、そして考えること、これが科学の茎です。そうして最後に謎が解ける、これが科学の花です。」と言っています。30年近く教えた学習者たちからもらった研究の種、いつか、花を咲かせたいと思っています。専門は、第二言語としての日本語習得研究・日本語教育方法学。主な著書は『中間言語研究日本語学習者における指示詞コ・ソ・アの習得』(1998年、渓水社)、『日本語学習者の文法習得』(共著 2001年、大修館)、『日本語教育に生かす第二言語習得研究』(2002年、アルク)、『日本語教育のためのコミュニケーション研究』(共著2012、くろしお出版)など。

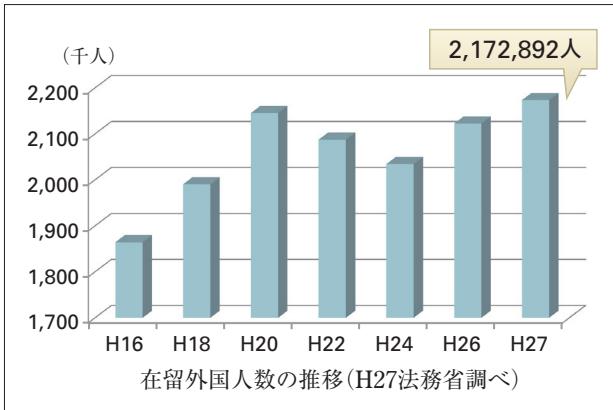


図1 日本在住の外国人の推移

- (1) ○○さんがお客様と電話を望むでしたけど、お客様の外出でメッセージをのこります。  
(韓国・某ホテルのメモ)
- (2)あのときのこと、覚えない、高校生、よく覚えた。  
(中国・学生)
- (3)花を育つ、野菜を育つ…みんなお母さんがした。  
(英国・女性)

誤用であるが、正用が容易に推測できる。

安全な誤用

- (4) T: では、これから調査を始めます。  
S: 先生、よろしくね。
- (5) T: 日本では、学校は4月から始まります。  
S: へえ、そうなんだ。
- (6) T: 最近は海外でも和食の店が増えたそうですね。  
S: そうそう。私も、日本のラーメン、大好き。

文法的には正用であるが、  
聞き手には不快感を与えててしまう。

危険な誤用

す。たとえば、「○○さんがお客様と電話を望むでしたけど、お客様の外出でメッセージをのこります」。これは韓国ソウルの某ホテルに泊まつたとき、ホテルのボイイさんが渡してくださいましたメモです。日本語母語話者であれば、見て、すぐ、どこがおかしいかわかります。「あのときのこと、覚えない、高校生、よく覚えた」。これも、だいたいどういうことが言いたいかわかります。あのときのこと覚えていないとか、高校生のときはよく覚えていたということですね。「花を育つ、野菜を育つ…みんなお母さんがした」。これは、自他動詞の問題です。

これまで、こういう文法の正確さに関する誤用を研究してきたのですが、誤用から何が言いたいかという正しい形式はだいたい推測できます。その意味では、あまり問題になる誤用ではなく、ある意味「安全な誤用」と考えられます(図2)。

しかし、私はここ二、三年海外の日本語学習者のデータを集めています。一〇か所くらいに行って、だいたい一週間で五〇人ほどのデータを集めてきます。そのときに遭遇したのがこういう誤用でした(図3)。

私が、「では、これから調査を始めます」と言つたら、「先生、よろ

図2 日本語学習者の誤用

図3 日本語学習者の誤用

しくネ」という声が返ってきました。それから、「日本では、学校は四月から始まります」と言うと、「へえ、そんなんだ」という反応でした。

「最近は海外でも和食の店が増えたそうですね」と言ふと、「そうそう。私も、日本のラーメン、大好き」という返答でした。これは文法的に悪くはありませんが、聞き手は、なんとなくカチーンとなるようなところがあります。私自身がちょっと不快感を覚えたわけです。その意味では、「危険な正用」というレッテルが貼られるかと思います。

最も驚いたのが次に紹介する例です。アルバイト先の店長さんに、週三日働いているところを週二日にしてほしいといつりいで、依頼のロールプレイをやります。日本語母語話者にやつてもらうと、だいたいみなさん、「あのう、すみません、店長さん、ちょっと、お話ししたいことがあります……」で始まります。ところが、おもしろかったのが学習者の言い方です。皆さん、どのように切りだすと思われますか。

「店長さん、ちょっと言いたいことがあります」。これで切り出されたときには、私もほんとうに後ずさりしたいくらい、「そっか、そういう表現になるのか」という、ある意味での驚きでした。学習者は、けつして彼は文句をいつもりで言っているわけではなく、ほんとうにお願いをしたいのです。たぶん、その人の母語ではこのような言い方をするのかもしれません。しかし、これらは少しの表現の違いですが、お互いのコミュニケーションに影響がでてくるのではないでしょうか。

## 日本語学習者コーパス

現在、日本語学習者コーパスの構築を目指して作業をしております。『I-JAS; International corpus of Japanese as a second language』と名付けました。多言語母語の日本語

学習者横断コーパス（以下、「多言語横断コーパス」とする）です。なぜ多言語かといふと、異なる一二言語を母語とする海外一七か国（二〇地域）の学習者言語の発話と作文データを集めているからです。言語類型をいろいろ考え

- て、図4に示す一二言語を母語とする学習者のデータを集めました。本日ご紹介するのは、この中の英語、フランス語、スペイン語、中国語などとする日本語学習者のデータです。
- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| ①英語   | ②フランス語 | ③スペイン語   |
| ④ドイツ語 | ⑤ロシア語  | ⑥中国語     |
| ⑦韓国語  | ⑧トルコ語  | ⑨インドネシア語 |
| ⑩タイ語  | ⑪ベトナム語 | ⑫ハンガリー語  |

### 1.ストーリー・テリング(ST)

4～5コマの絵を見て、物語を作成。

### 2.対話(30分)

半構成インタビュー(共通の話題でおしゃべり)

### 3.ロールプレイ(RP)

「依頼」と「断り」

### 4.絵描写タスク

1枚の絵を見て、日本語で説明

### 5.ストーリー・ライティング

1.のSTのタスクを一定時間を与えてPCで書く。

### 12の異なる言語とは？

(語系: ゲルマン、ロマンス、シナチベット、アルタイ、オーストロネシア、スラビック他)

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| ①英語   | ②フランス語 | ③スペイン語   |
| ④ドイツ語 | ⑤ロシア語  | ⑥中国語     |
| ⑦韓国語  | ⑧トルコ語  | ⑨インドネシア語 |
| ⑩タイ語  | ⑪ベトナム語 | ⑫ハンガリー語  |

図5 対面調査の内容と流れ

図4 日本語学習者コーパス I-JAS  
(多言語母語の日本語学習者横断コーパス)

調査は次のような流れで

I. 多様な類型の異なる母語の学習者を対象。
II. 各地域で約50人の学習者のデータを収集し、国内の自然環境学習者も含め、最終的には1,000人コーパスを目指している。
III. すべての学習者に統一の日本語能力テストを実施している(SPOT、J-CAT)。
IV. 発話と作文のデータに加え、学習者の音声データも公開予定。

図6 I-JAS の特徴

タとして一二言語の学習者一五名ずつと国内の学習者、それから日本人も含めて全部で二二五名のデータを公開する予定です。残りは、第二次から第五次の公開が計画されており、完成は二〇二〇年、オリンピックの年です。

行いました(図5)。最初に、四～五コマの絵を見て、物語を口頭で話してもらうストーリー・テリング(ST)と、三〇分の半構成インタビューです。つまり、自然なおしゃべりのような形で設定された話題の話をしてもらいます。それからロールプレイ(RP)です。さつき紹介したアルバイトの日数を変えてもらう「依頼」と、「断り」です。さらに、一枚の絵を見て、その描写を日本語で説明してもらいます。最後は、最初に見せたストーリー・テリングを、一定時間を与えて、考えて、パソコンに書いてもらうというものです。本日紹介するのはロールプレイの依頼です。

『多言語横断コーパス』の特徴は、多様な類型の異なる母語の学習者を対象としてを集めていることと、各地域で約五〇人の学習者データを収集し、国内の教室環境と自然環境学習者も含め、最終的には千人コーパスを目指していることです(図6)。また、すべての学習者に統一の日本語能力テストを受けても、その結果をデータとして残しています。さらに、発話と作文のデータに加え、学習者の音声データも公開を予定していることです。現在、文字化の真っ最中ですが、この春(二〇一六年春)、第一次デー

## ロールプレイにおける依頼表現

### 一・先行研究

本日のデータは、ロールプレイによる依頼表現ですが、まず、先行研究を紹介します。志村・生駒(一九九二)は、英語話者で日本語を学んでいる人たちを対象に、断り場面の表現を日本語母語話者と比較して、いわゆる誤用論の転移(pragmatic transfer)が見られることを示しました。具体的に言うと、断りの仕方が、英語話者はたとえ日本語で断つっていても、その中にあまり代案を示さない傾向があること、さらに、社会的地位の違い、つまり、目上の人間に断つっているにもかかわらず、中途終了文(言いきし文)をあまり使わず、直接的にはつきり断る傾向が見られることなどを挙げ、これは、母語の影響ではないか、と結論づけています。

また、鮫島(一九九八)は、中国語母語話者を対象に、初級・中級前期・中級後期の三つのレベルで、談話完成テストを用いて、「依頼」場面での特徴および母語の影響を調べています。これは実際に話させたのではなくて、こういう場合、あなたはどうのように言いますか、という談話を完成させる筆記テストでした。彼の調査によると、初級あたりは、「〜ください」「〜てくださいませんか」といった言い方から、中

級前期になると、「～いいですか」「～てもいいですか」「～ていいですか」というようにかわり、最終的には、「～ですが」のような中途終了文が出てくる段階があることを明らかにしました。特に、「～いいですか」「～て（も）いいですか」といった言い方は、中国語に非常に多いのです。

また、猪崎（二〇〇〇）は、フランス語話者の日本語学習者を調べています。日本人母語話者同士の会話では、何かお願いをするとき、「実は、お願いしたいことがあります……」というような予告部分が用いられます。日本人母語話者はそのような言い方はあまり使いません。おもしろかったのは次です。「変更の依頼」では、日本人は「お願い」とみなしているようですが、フランス語話者はお願いといふより交渉だと考へているようだと述べています。そのため、聞く側、日本人には押しつけがましいという印象を与える、という結論を出しています。

これらは、母語というか母文化の影響があるのでないかと論じている先行研究です。

これらの先行研究は、それぞれ問題点があります。鮫島の場合、実際の会話ではなく談話完成テストです。また会話調査では、対象者が、志村・生駒は一〇人、猪崎は七人と非常に少なく、さらに、いずれも母語を一つに限定して調査しています。したがって、複数の異なるた

母語の学習者ではどうかという点が謎になっています。

## 二・ロールプレイの調査

そこで、今回私は、フランス語話者、スペイン語、英語話者、中国語話者、それぞれ一五名、あわせて六〇名の学習者を調べました。彼らはすべてJ-CATとSPOTという日本語能力テストを受けていますので、その点数に基づき、統計分析をかけ、日本語能力が等質レベルと判定された一五名ずつを選出し、日本語母語話者、つまり日本人一五名と比べてみました。

ロールプレイの内容は、「あなたは、日本料理店でアルバイトをしています。……中略……。いまは、一週間に三日アルバイトしています。しかし、忙しくなってきたので、一週間に二日に変更したいと思っています。そこで、店長に言つて、三日から二日にかえてもらうように頼んでください」です。実際の調査では日本語は見せません。それぞれの学習者または英語で作成されたロールカードのどちらかを選んで、読んでもらいます。そして、調査者（日本語母語話者）と対象者が一対一で実施します（図7）。そこでは、すぐに学習者の申し出に了承を出さないで、「こっちも忙しいんで、なんとかなりませんかねえ」と、くいさがる店長側と何回かのやりとりをします。

### 結果の分析

結果の分析を紹介します。ロールプレイ全体は比較的に長いのですが、どのように依頼をするかに焦点をあてるために、前半部分のみを三つのパートに分けて分析しました。三つのパートとは、開始部

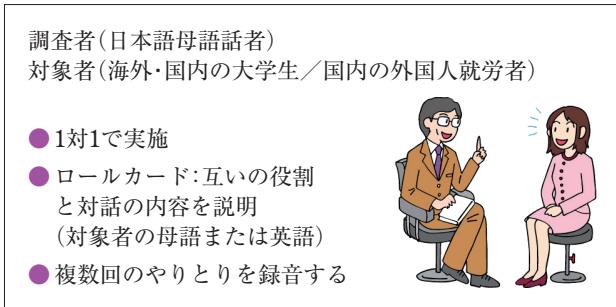


図7 ロールプレイの実施概要

表1 学習者の発話開始部(A)の文の種類

[開始部の各文の割合]

日本語話者		フランス語話者		スペイン語話者	
中途	質問	平叙	中途	質問	平叙
90%	0%	10%	17%	50%	33%

英語話者			中国語話者		
中途	質問	平叙	中途	質問	平叙
27%	55%	18%	27%	18%	55%

分(A)、前提部分(B)、依頼部分(C)です。依頼を述べるまでの流れとして、開始部分(A)は「あのー、ご相談があるんですが」から始まって、前提部分(B)「いま、週三日はたらいてるんですけど」、最後、本題の依頼部分(C)は、「週二日に変更させていただきたいんですけどでも」と続きます。これが一般的な日本語母語話者のパターンです。そこで使われている文の種類を説明します。言いさし(中途終了)文とは、「お話ししたいことがあるんですけど……」と最後まで言わないで途中で終わる表現です。たとえ言いさしでも、相手も何かあるなどわかります。また、質問文を使う場合は、「いま、ちょっとよろし

ます」のような平叙文です。日本語母語話者にも何人かは使用している人がいました。

開始部の結果が表1です。日本語話者の場合は圧倒的(九〇%)に、中途終了文で始まりますが、外国人の場合は多くありません。この結果から、母語にかかわらず、日本語母語話者は、「言いさし」(中途終了)が多いのに対して、学習者はきわめて少ないことがわかります。日本人だったら、「ご相談があるんですけど……」「申し訳ないんですけど……」と言うのですが、学習者はそれが少ないので。このことは生駒・志村の先行研究を支持する結果となりました。

言いさし文を使わない学習者は、平叙文を使う傾向があり、中国語話者はその割合が高くなっています。いきなり「お願いがあります」とか「質問があります」「話があります」「話したいです」で始まります。一番驚いたのは、最初にもご紹介した「言いたいことがあります」という表現です。これはさすがに少なかつたのですが、直接的な表現を使うケースが多く見られました。

また、日本語母語話者は、依頼に入る前に、開始部でまず、自分の依頼を謝罪から始める傾向が見られました。たとえば、「あつ お時間を持つて すみません」とか「あのー ちょっとお時間いただけますでしょうか」のように謝罪をするような表現から始まります。このことは猪崎も指摘しています。

次は前提部です。

日本語母語話者の場合、「いま、自分は週三日働いてるんですけど

ども」のように、依頼に入る前に、必ず現状について説明し、依頼の前提を話します。「いま、週三日、入っているんですけど……」「今まで週三日で働かせていただいていたんですけど……」。このような前提が入ると、聞く側はどうでしょうか。「何か言つてくるな」「アルバイト日数のことだな」ということが、推測できるわけです。

日本人には前提部に、説明が一〇〇%あります。フランス語母語話者にわりと説明がありますが、スペイン語話者や英語話者、中国語話者は説明なしがわりと多くなっています（表2）。スペイン語、英語、中国語話者の場合、前提を省略して本題の依頼にすぐ入る傾向があります。「店長にお願いがありますが、ふつか、週に二日だけ働きたいんです」といきなり本題を切り出します。私も、「えーっと、いま何日働いていましたか」と聞き返すようになります。早く本題を切り出すケースが多いようです。

次は最後の依頼部です。

本題に入ったとき、どんな文の形式が多いでしょうか。

やはり、日本人は「二日にしていただきたいのですけれども……」のような言いさし（中途終了）文です（表3）。本題の部分で中途終了文を使うのは、外国人の日本語学習者にはもしかしたら曖昧ととらえられてしまうかもしれません。学習者は言いさしではなく、「質問文」の割合が高くなっています。具体的には、「二日間にしていただけませんか」「二日はどうですか」などが見られますが、これらは、まだまだ丁寧です。「二日になつてもいいですか」は、「二日にさせていただいてもいいですか」のような使役がなかなか出てこないたちです。

質問文だけでなく、平叙文の割合も高いです。たとえば、

「勉強が難しいのでお願いします」「二日だけをできれば働きたいです」などです。「店長 二日だけお願いします」。「いやあ、こつちもいろいろ忙しいから」と言うと、「いや、お願いします」「お願いします」の連呼だつたりします。

「二日だけ働いて、させてください」には、使役を一生懸命使おうとか「二日はどうですか」などが見られますが、これらは、まだまだ丁寧です。「二日になつてもいいですか」は、「二日にさせていただいてもいいですか」のような使役がなかなか出てこないたちです。

そのため、意図が正しく伝わらない問題のケースも出てきます。

表2 学習者の前提部(B)の説明の有無  
[前提部の現状説明の有無の割合]

日本語話者		フランス語話者		スペイン語話者	
説明有	説明無	説明有	説明無	説明有	説明無
100%	0%	93%	7%	60%	40%
英語話者			中国語話者		
説明有	説明無	説明有	説明無	説明有	説明無
47%	53%	67%	33%		

表3 学習者の発話依頼部(C)の文の種類  
[依頼部の各文の割合]

日本語話者			フランス語話者			スペイン語話者		
中途	質問	平叙	中途	質問	平叙	中途	質問	平叙
73%	20%	7%	27%	53%	20%	13%	47%	40%
英語話者			中国語話者					
中途	質問	平叙	中途	質問	平叙			
7%	73%	20%	0%	80%	20%			



たとえば、「変更してもらえないかと思って」などは、少し丁寧さが欠けます。「やめていただけませんか」の例は、おそらく「一日やめさせていただけませんか」と言いたかったのでしょうが、これではまったく立場が逆転してしまいます。また、次のような「私は三日の仕事ができませんですから、どうしましょう。どうすればいいですか」と、聞かれるケースもありました。このような言い方は、店長（聞き手）に不快感、誤解を与えててしまいます。

### 結果をまとめる

まず、第一に、学習者は母語の違いにかかわらず、開始部や依頼部で「言いさし（中途終了）文」を使いません。母語話者であれば、「ちょっとご相談があるんですが……」と言うところを、「いま、暇ですか」とか「話があります」「あのー店長、話したいです」と切り出します。これらは場合によつては、上司である店長に不愉快な印象を与える可能性をはらんでいます。

第二は、学習者は前提を示さず、いきなり要望を提示してくる場合も多く、唐突な感じを与えます。日本人だったら「いま、週三日、入っているんですけど……」と言つたら、「これはだいたいアルバイトの日数の話だな」という推測がつくのですが、前提がな

く、いきなり、「店長にお願いがありますが、ふつか、週に二日だけ働きたいんです。いいですか」と話を進めます。中国の学習者には、「いいですか」と念押しするケースが多く見られました。

第三は、母語話者は謝罪表現が多く出てきますが、学習者には謝罪する面は少なく、それは先行研究で猪崎が言つてはいる、「学習者は依頼とみなさず、依頼を交渉とみなしている可能性がある」のではないかと考えます。日本語母語話者の場合、「申し訳ないんですけども……」「週二日に変更させていただきたいんですけども……」と、へりくだって話をします。学習者には、「二日どうですか」「二日だけをできれば働きたいです。どうですか、いいですか」といった表現が出てきます。これらの表現は、彼らの日本語能力レベルがまだそこまで達していないという日本語能力の問題かもしません。しかし、どの国の中でも、比較的に交渉的な表現が多くなつていきました。

### おわりに——多文化共生社会のなかで——

二〇〇万人の外国人が住んでいる日本は、これから多文化共生の社会に進んでいきます。その中で、日本の企業が外国人にどんな能力を求めているかを調べてみました（図8）。二〇〇六年の調査によると、圧倒的に「日本語力」です。次に、「日本の社会・文化に適応する能力」、それから、調整力ともいえる「チームワーク力」が出てきます。次に、日本語以外の他の母語を含めての「他の言語能力」と、日本企業文化・働き方への適応力を指す「働き方対応」が同率となっています。さらに、その道の「専門知識」が続きます。これらが、日本企業がいわ

ゆる外国人、グローバル人材に求める内容です。

まとめると、多くの企業が、たとえ外国人といえども日本語で大半の業務を遂行することを期待しているといえると思います。それは、相手や場面において使い分けられる日本語によるコミュニケーション能力です。このコミュニケーション能力とは、単にコミュニケーションできるだけではなく、場面によって、相手によって使い分けられることを意味します。これは、通常の日本語の生活に不自由のないコミュニケーションではなく、相手が何を望んでいるか、何を考えているかを考えたうえでの言語行動、言語能力を求めているのではないかと思います。

この調査の報告書では、非対面型の電話やメールなどのコミュニケーション能力もビジネスに必要な日本語能力と位置づけています。

では、留学生側は企業にどんなことを望んでいるのでしょうか（図9）。

「日本企業における外国人留学生の就業促進に関する調査研究」の報告書概要（2007）から  
(AOTS: (財)海外技術者研修協会 2006年調査実施)

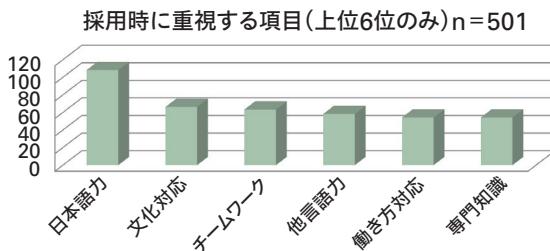


図8 企業が求める外国人の能力とは？

留学生が企業で活躍するために必要な項目  
(元留学生 n=259)

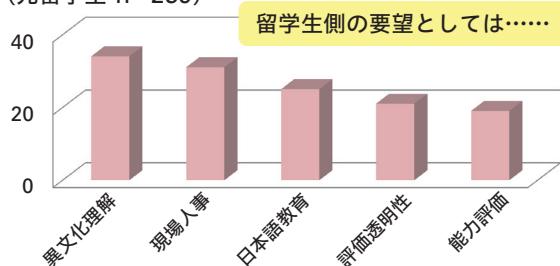


図9 留学生が日本企業に望むことは？

たら表現もかわってくるかもしれません。次が、留学生を人材として活かす方法としての「現場での人事」です。もっと留学生を活用してほしいという願いです。次は、充実したビジネス場面に適した「日本語教育」の充実、そして「評価の透明性」が求められています。さらに、年功序列ではなく「能力重視の評価」が、上位の項目として挙げられていました。

これから私たちの多文化共生社会では、日本語母語話者の外国人に対する異文化理解を深めることが大切です。相手に求めるだけではなく、私たち自身も変わっていかなければならぬのではないかとうか。

また、日本語教育においては、文法の正確さだけではなく、具体的に動画やロールプレイなどを活用して、表現の適切性やことばの伝わり方・伝え方なども具体的に指導していくしかなければならないと考えさせられました。これからも、学習者コーパスの研究を通して、ソトとウチの接点としての日本語教育の在り方を考えていきたいと思います。  
ご清聴ありがとうございました。

# ポスター展示とデモンストレーション

かはなま

## 《理論・構造研究系》

「上代語連濁データベース」ティモシー・バンス

「複合動詞レキシコン」影山 太郎

## 《時空間変異研究系》

「SP盤レコードが拓く日本語研究」相澤 正夫

「方言の形成過程の解明—方言分布の経年比較に基づく—」大西 拓一郎

「敬語の成人後習得と記憶時間」井上 史雄

「方言コーパス試作版」井上 文子

## 《言語資源研究系》

「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) の概要と検索」山崎 誠

「『日本語歴史コーパス (CHJ)』の概要と検索」

小木曾 智信

## 《言語対照研究系》

「日本語教育に役立つ『基本動詞ハンドブック』の開発」今村 泰也、ブラシャント・パルデシ

「アイヌ語研究の新しい局面へ向けた取り組み—アイヌ語班研究活動報告—」

アンナ・ブガエワ、小林 美紀

「日本列島と周辺諸言語の類型論的・比較歴史的研究—3年間の研究成果から—」

ジョン・ホイットマン、長崎 郁

「語りの中に生きることは—アイヌ語の口承文芸コーパス—」アンナ・ブガエワ、小林 美紀

## 《日本語教育研究・情報センター》

「接続詞に透けて見えるジャンルの不思議—商学・経済学・法学・社会学・国際政治学の違いを例に—」

石黒 圭

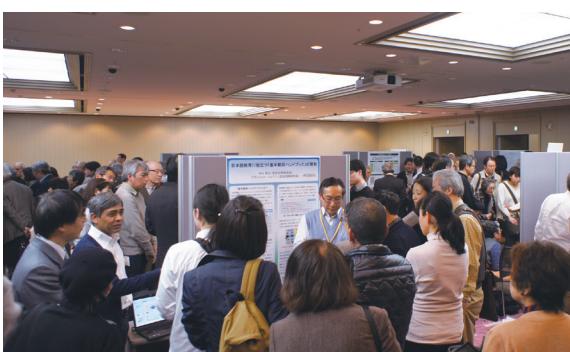
「日本に定住した外国人のことばの使用と環境に関する継続的研究—日本語学習者の会話力に焦点を当てながら見えてきたこと—」野山 広

## 《コーパス開発センター》

「『国語研日本語ウェブコーパス (NWJC)』の概要と検索」浅原 正幸

今回のフォーラムの講演は、国立国語研究所が六年間に実施してきた共同研究プロジェクトの研究成果の中から主要なものを紹介しましたが、講演だけでは紹介しきれなかつたものも多数あります。講演会場とは別会場で、上代語・日本語史、全国方言、アイヌ語、日本語教

育、ウェブコーパスなどの研究成果については、ポスター展示とデモンストレーションを行い、公開前の『アイヌ語口承文芸コーパス』および『国語研日本語ウェブコーパス (NWJC)』ならびに現在も構築中の『日本語歴史コーパス (CHJ)』なども紹介しました。



# 閉会の辞～今後の展望～

所長 影山 太郎



みなさま、一時から五時すぎまで四時間、あいだにデモンストレーションも挟み、長時間おつきあいいただきました。本日は、ウチから見た日本語、ソトから見た日本語、そして、ウチとソトの接点としての日本語学習について研究成果をご紹介しました。特に、ウチとソトの二つの視点が接触する日本語教育・日本語学習については、日本の文化や生活様式、人間関係、その他さまざまな要素が影響していて、単純にことばの問題として片付けられないことをご理解いただけたかと思います。

開会の挨拶で述べましたように、日本語の将来は未来永劫、安泰であるとは言い切れません。私は、国立国語研究所の仕事は今日のグローバル化されつつある世界において、日本の「無形文化財」といってよい日本語という言語を守り立てていくことだと思います。そのためには、豊かで美しい日本語の姿を将来に伝えていくような研究、研究の成果を研究者、一般社会、日本語学習者に発信することで学術世界と日常生活の双方を豊かにするような研究、そして、日本語の学術的研究および日本語という言語そのものを世界に浸透させるような活動をこれからも進めていく所存です。とりわけ重要なのは、最後に挙げた、世界との関係です。従来、日本語の学術研究は国語学と呼ばれ、日本という小さな列島のなかだけに収まっていました。しかし、それでは現在のグローバル社会では通じません。日本語の学術的研究および日本語という言語そのものを世界に広めていくための情報発信、成果発信を強化していきたいと思っています。

これで閉会となります。次回は来年二〇一七年一月二一日(土)、場所は今日と同じ一橋講堂で開催します。そのときの出し物は「オノマトペ」、すなわち擬声語、擬音語、擬態語を予定しています。「雨がザアザア降る」「シット降る」といった言い方は、西洋の言語学者のあいだでは、原始的で幼稚な表現と見なされることが多いようです。ところが、日本語のなかでは、オノマトペは、音声、意味、文法、文体など言語全般にかかる複雑な性質を持つていて、文学作品や日常のコミュニケーションにも大きくかかわっています。次回は、日本語にとつて無くてはならないオノマトペにまつわる『びっくりばん』な話を準備しています。是非、お越し下さい。

本日は最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

NINJAL フォーラムシリーズ7  
国立国語研究所 第9回 NINJAL フォーラム

**ここまで進んだ！ここまで分かった！  
国立国語研究所の日本語研究**

2016(平成28)年8月10日

発 行：人間文化研究機構 国立国語研究所  
〒190-8561 東京都立川市緑町10-2  
TEL 042-540-4300 FAX 042-540-4333  
<http://www.ninjal.ac.jp>

制 作：株式会社クバプロ



国立国語研究所

ISBN 978-4-906055-36-4